

# Yawaragi

Gakushuin Women's College

VOL.24  
2021年度



2022年3月



# Yawaragi

学習院女子大学だより

---

やわらぎ

—  
第24号

---

2021年度

---

## Contents

- P. 2 目次
- P. 3 新学長挨拶
- P. 4 新副学長挨拶
- P. 5 令和3年度特別授業の紹介
- P. 6 学習院女子大学と新型コロナウイルスとの闘い ～ニューノーマルに向けての歩み編～
- P. 8 環境教育センターが大切にしていること
- P. 10 学習院女子大学学会より
- P. 12 新任専任教員紹介/客員研究員受入一覧
- P. 13 国際学研究所だより
- P. 14 留学生報告/海外留学報告
- P. 15 国際交流推進センター行事報告
- P. 16 留学制度について
- P. 17 輔仁会団体紹介
- P. 18 輔仁会団体紹介/雅祭を終えて
- P. 19 「和祭」を振り返って
- P. 20 学習院女子大学の就職力
- P. 21 内定者からの声
- P. 22 キャリア支援部より
- P. 23 図書館からのお知らせ
- P. 24 専任教員著書紹介
- P. 25 学習院女子大学専任教員紹介
- P. 26 保健室からのお知らせ
- P. 27 学習院父母会の近況報告
- P. 28 草上会について
- P. 29 学習院女子大学データ
- P. 30 Topics

## 新学長挨拶



## 新学長挨拶

学習院女子大学長 大桃敏行

皆様、ごきげんよう。本年度から学長を務めております大桃敏行です。神田典城前学長の任期満了に伴い、学長に就任しました。

簡単に自己紹介をしますと、新潟県の日本でも有数の豪雪地帯で生まれ育ちました。大学生生活は仙台で送り、出身校の東北大学に勤務した後、東京大学に移りました。学習院女子大学への着任は二〇一七年で、本学は三つ目の勤務校になります。専門は教育学、そのなかでも教育行政学や教育制度論です。本学の発展に鋭意努めてまいりたいと思いますので、よろしく願います。

さて、四月に学長になりましたが、まず取り組まなければならない

かった課題は、他の大学がそうであったように、コロナ禍で大学運営をどう行っていくのかでした。新型コロナウイルス感染症は依然として先が見通せず、その時々状況を見ながらの判断が続きます。この感染症対応とともに本学の大きな課題が、大学運営の基本となる新中期計画の策定と実施です。現在の中期計画は二〇二一年度までで、二〇二二年度から六年間の新たな中期計画がスタートすることになるからです。最終年の二〇二七年は学習院創立一五〇周年にあたります。

新中期計画では本学のこれまでの蓄積を活かしながら、それらをさらに発展させていきたいと考えています。まず、国際化の推進です。本学は海外に二〇を超える協定大学があり、この協定校を中心に留学や学術交流を進めてきました。短期の海外研修も活発で、先進諸国だけでなく発展途上国も対象に、多様で実践的なプログラムを展開してきました。授業についても、パリにある国際機関の専門家と本学教員との共同分野横断型講義など、海外とつながる授業を実施しています。コロナ禍で実際の訪問には制約がありま

すが、この間のオンラインによる授業や研修の経験も活かしながら、ポスト・コロナを見据えた新たな展開も含めて、国際化を進めていきたいと思っています。

国際化とともに学習院女子大学の特徴となっているのが、多様性に開かれた学びです。本学は一つの学部にも多様な学問分野の教員を擁し、多様な領域を学んだ後に自ら選んだ分野の学修を深めていく、リベラルアーツ教育型の教育課程を組んでいます。リベラルアーツは長い歴史がありますが、その意義を今日的課題との関係で再定位していきたいと思っています。広

い領域を学び思考を深めていくことは、ものの見方を自由にし、多様な角度から自分自身を、そして社会を捉え直していく力を育んでいくものと、私は考えています。そして、このような力こそ、予測が難しい時代にあって、他の人たちと協力し合いながら新たな社会を構成していく力につながるものと思います。

本学の教育と研究の一層の充実、それにもとづく本学らしい社会貢献に、教職員の皆さんと一緒に取り組んでまいります。学習院女子大学のこれからについて、いろいろとご意見をいただければ幸いです。



## 新副学長

## 挨拶

内野 儀

2021年4月1日付けで副学長を拝命しました内野儀です。「儀」は「ただし」と読みます。本学には2017年4月に、日本文化学科教授として赴任しました。

本学赴任5年目にして、大桃新学長の指名により、副学長の重任にあたることになりました。神田典城前学長時代より、本学は副学長2名の体制になっており、わたしは教育改革（コアの教育理念の再構築）、入試制度改革、広報戦略、研究支援・キャリア支援といった分野を担当しています。

本学でお世話になるまで、25年の長きにわたって東京大学大学院総合文化研究科というところに勤務していました。所属先の大学院は総合文化研究科というわかりに

くい名前ですが、学部は教養学部という名称で、いわゆる教養教育に長く携わってきたわけです。ちょうどバブル期が終わって、「失われた……」と称されることになる20年強の激動の時代をそこで過ごしたことになります。

わたしが教えていた教養学部は、国立大学でほぼ唯一、大学設置基準の大綱化による教養課程の解体の波をまぬかれたところでした。入学者は全員、教養学部にて2年間所属することになっていて、その間、学生は専門によらない幅広い分野の科目の履修を求められていました。

経済状況が厳しくなるにつれ、教養より「役に立つ」スキルを、シェイクスピアでなく英会話を、と声高に言われるようになっていく時代でした。デジタル化も一挙に進みました。戦後日本の大学教育をささえてきた教養という理念を信じている教員と、そうではない教員が入れ替わる時期でもありました。一般教養という名称が、「役に立たない」とほぼ同義で社会一般にイメージされるようになり、学生もまた、そういうイメージをもったまま入学してくるような時代でした。

前任校ではこうして、いかに

21世紀にふさわしい教養教育のイメージを再構築できるかを考えつづける25年となりました。そして今回、副学長のわたしに課せられたいちばんの仕事は、これまでのわたしのささやかな経験を生かしたうえで、すでにご紹介した「コアの教育理念の再構築」ではないかと思っています。本学が重要視するリベラルアーツ教育の、いわゆる可視化や実質化をふくむ、一層の充実をはかる、ということになりましょうか。

そこには、ただ単に教育理念の再構築と、その理念の大学構成員間での共有だけでなく、カリキュラム

改革や入試制度改革といった、さまざまな大きな改革が関係してきます。一朝一夕の思いつきではとうてい実現できない大きな改革です。こうした課題についての検討は、これまでも全学的に行われてきています。ですから、大桃新学長のしなやかなリーダーシップのもと、積み重ねられてきた議論を踏まえたうえで、与えられた課題の解決を進めていければと思います。限られた任期ではありますが、わたしは自身の経験から得られた知見を、少しでも本学のために役立てられればと考えているところです。





## 日本文化学科

| テーマ                                  | 講師名    | 職名                                      | 日時     | 時限 | 授業名                 | 担当教員   |
|--------------------------------------|--------|-----------------------------------------|--------|----|---------------------|--------|
| レシピ検索データから見える現代の食<br>-コロナ禍の影響、地域差    | 伊尾木 将之 | クックパッド株式会社                              | 5月31日  | 5限 | 日本文化演習Ⅰ K/Ⅲ K       | 宇都宮 由佳 |
| 日本における乳食文化の受容の態様                     | 和仁 皓明  | 西日本食文化研究会主宰<br>乳の学術連合<br>乳の社会文化ネットワーク幹事 | 7月5日   | 3限 | 日本生活文化史Ⅲ<br>(食文化)   | 宇都宮 由佳 |
| 華族女学校の女性スポーツ教育<br>～近代日本における先駆的・啓蒙的展開 | 荒井 啓子  | 学習院女子大学名誉教授                             | 7月12日  | 4限 | 現代文化論Ⅶ<br>(スポーツ文化論) | 橋本 彩   |
| 全国の個性豊かなしょうゆの歴史をたどる                  | 山口 孝   | キッコーマン株式会社国際食文化<br>研究センター社史編集グループ長      | 10月4日  | 5限 | 日本文化演習Ⅱ K/Ⅳ K       | 宇都宮 由佳 |
| 日本における障害者と家について                      | 木下 知威  | 日本社会事業大学非常勤講師                           | 11月10日 | 2限 | 日本人論Ⅱ               | 木村 直恵  |
| どんぶり物の二百年～誕生と歴史的変遷                   | 飯野 亮一  | 服部栄養専門学校理事・講師<br>食文化史研究家                | 1月11日  | 2限 | 日本生活文化史Ⅳ<br>(食文化)   | 宇都宮 由佳 |

## 国際コミュニケーション学科

|                                 |                |                               |        |    |                            |        |
|---------------------------------|----------------|-------------------------------|--------|----|----------------------------|--------|
| 地域創生とブランディングの観点から見た<br>企業博物館の意義 | 高柳 直弥          | 大正大学地域創生学部<br>地域創生学科専任講師      | 5月17日  | 4限 | 基礎演習ⅠC/ⅢC<br>(企業博物館に学ぶ経営学) | 金城 亜紀  |
| ルワンダ コロナ禍における女子への影響             | 永遠瑠マリール<br>レイズ | NPO法人ルワンダの教育を<br>考える会         | 6月22日  | 2限 | 国際開発論Ⅰ                     | 伊藤 由紀子 |
| 古代ジャワ社会における王と宗教                 | 山崎 美保          | 東京外国語大学 非常勤講師                 | 6月25日  | 2限 | 東南アジア文化論Ⅰ                  | 北川 香子  |
| 起業の実際                           | Yuhka Mera     | 独立経営コンサルタント                   | 7月6日   | 1限 | 経営学Ⅱ                       | 金城 亜紀  |
| 公認会計士として外資系会計事務所働くこと            | 三上 優           | PwCあらた有限責任監査法人                | 7月7日   | 3限 | 国際経済Ⅰ                      | 宇野 公子  |
| オルタナティブ教育の実際と課題                 | 後藤 武俊          | 東北大学大学院教育学研究科<br>准教授          | 10月18日 | 3限 | 国際コミュニケーション演習<br>Ⅱ J/Ⅳ J   | 大桃 敏行  |
| 独立行政法人日本貿易振興機構<br>アジア経済研究所について  | 長田 紀之          | 日本貿易振興機構<br>アジア経済研究所研究員       | 10月20日 | 3限 | 国際コミュニケーション演習<br>Ⅱ F/Ⅳ F   | 北川 香子  |
| なぜNPO法人か<br>ーNPO法人新宿ゆったりーのー     | 小原 聖子          | NPO法人ゆったりーの<br>前代表            | 11月30日 | 2限 | ボランティア論Ⅱ                   | 伊藤 由紀子 |
| 外資系コンサル会社で働くこと                  | 永野 紗英          | アクセンチュア株式会社                   | 12月7日  | 3限 | 金融論                        | 宇野 公子  |
| 国際社会と外資系コンサルのキャリア               | 向井 悠理          | ボストン・コンサルティング・<br>グループコンサルタント | 12月8日  | 3限 | 国際経済Ⅱ                      | 宇野 公子  |
| 神判から異端審問へ<br>ー中世ヨーロッパの裁きをめぐって   | 図師 宣忠          | 近畿大学文芸学部准教授                   | 12月16日 | 2限 | フランス文化論Ⅱ                   | 正本 忍   |
| ミャンマー情勢について                     | 長田 紀之          | 日本貿易振興機構<br>アジア経済研究所 研究員      | 12月24日 | 2限 | 東南アジア文化論Ⅱ                  | 北川 香子  |

## 日本文化学科・国際コミュニケーション学科

|              |       |              |       |    |                             |      |
|--------------|-------|--------------|-------|----|-----------------------------|------|
| 諸種日本酒の味わいの違い | 遊佐 勇人 | 人気酒造株式会社蔵元   | 7月2日  | 3限 | 日本文化演習ⅠN<br>国際コミュニケーション演習ⅠU | 品川 明 |
| ワインの特徴と歴史    | 原口 真一 | 前日光市立足尾中学校校長 | 12月2日 | 2限 | 比較文化論Ⅵ(嗜好)                  | 品川 明 |

## 共通科目

|                                |       |                                |        |    |                                     |        |
|--------------------------------|-------|--------------------------------|--------|----|-------------------------------------|--------|
| ヨガの世界観(生き方としてのヨガ)              | 島村 朋子 | tada.ima.Yoga House 主宰<br>ヨガ講師 | 6月24日  | 2限 | スポーツ・健康科学演習ⅠA<br>東洋の養生法<br>(ヨガと呼吸法) | 橋本 彩   |
| ライフステージ 乳幼児期の栄養について            | 棚野 典子 | 台東区台東保健所会計年度職員<br>管理栄養士        | 7月1日   | 2限 | 生活環境論Ⅲ<br>(健康と栄養)                   | 宇都宮 由佳 |
| 国家公務員総合職(経済職)に必要な<br>基礎経済学とは何か | 不破 夕里 | 出入国在留管理庁在留管理支援<br>部在留支援課       | 7月6日   | 3限 | 基礎経済学                               | 宇野 公子  |
| ブランコの来た道                       | 寒川 恒夫 | 静岡産業大学経営学部特任教授                 | 11月19日 | 4限 | 社会環境論Ⅳ<br>「遊びと祝祭」                   | 橋本 彩   |
| ライシテと教育                        | 前田 更子 | 明治大学政治経済学部教授                   | 12月14日 | 2限 | 西洋近代史概論                             | 正本 忍   |

## 学芸員課程

|                             |       |      |        |     |         |       |
|-----------------------------|-------|------|--------|-----|---------|-------|
| 女性アーティストである私の制作と<br>テーマについて | 松下 誠子 | 美術作家 | 10月30日 | 11時 | 博物館実習ⅡB | 小勝 禮子 |
|-----------------------------|-------|------|--------|-----|---------|-------|

# 学習院女子大学と新型コロナウイルスとの闘い

## 「ニューノーマルに向けての歩み編」

副学長 国際コミュニケーション学科教授 荏林 幹太郎

昨年、「やわらぎ23号」で「学習院女子大学と新型コロナウイルスとの闘い」「トレードオフ」への対応」を掲載した際には、その第2編を執筆しなければならぬ状況は回避したいと願っていましたが、残念ながらその願いはありませんでした。

学習院女子大学では学生や同居家族の皆さん、ならびに教職員の安全確保を引き続きの最優先事項としつつ、「新たな日常（ニューノーマル）」に向けての歩みを一歩ずつ進めてきました。本稿では、それらの歩みとその背景にあった考え方を皆さんと共有したいと思います。これから続くニューノーマルに向けての歩みを皆さんとともに進めていくためには、皆さんとの「リスクコミュニケーション」が何よりも重要と考えるからです。

この1年間で、本学ではその方法を進化させつつ対面授業比率を順次引き上げてきました。感染リスクに

係る大きな不確実性のもとでは、「漸進主義」(Gradualism)が重要と考えたからです。2020年度秋学期には、基礎演習、専門演習(ゼミ)に加えて一部の講義系科目を対面授業としたことにより、対面授業を希望する皆さんのほとんどが週1回の登校が可能となりました。2020年の秋学期の時点では、接触感染のリスクが強く警戒されていたことから、登校した

皆さんの教室移動を最少化するために、その日に予定されている基礎演習及びゼミの教室の重複利用を回避する方策を採用しました。これにより、基礎演習やゼミへの出席のために登校する皆さんが、その前後の科目を学内でZoom受講する場合、基礎演習・ゼミへの割り当て教室で受講することを可能としました。

さらに、対面授業の拡大に際して、可能な限り定量的な数値をもとに感染防止と対面授業拡大の間の適切なバランスを図る戦略を採用しました。2021年度春学期には、結果として実質的には6月から7月上旬にかけての約6週間になってしまいました。教室密度50%未満の条件をクリアできる科目を中心に同学期提供科目の73%について対面授業で実施し、







のZoom講義受講者

のうち、3時間目の対

面授業を受講してい

る履修者数を特定し

ます(この数値を②

とします)。この人た

ちも2時間目を学内

Zoom受講せざるを

得ないと推定しまし

た(昼休み中の登校は

困難との前提です)。

そのうえで、①と②を

加えたものから、1時

間目対面、2時間目

Zoom、3時間目対面の受講者数(こ

れを③とします)を引きます。①と②

を加えただけだと、③の人数をダブル

カウントしてしまうからです。実際に

は、さらに詳細な場合分けをして、想

定しうるすべてのケースを勘案した

うえで、2時間目の学内Zoom受講者

数を計算し、その時間帯にZoom受講

スペースが確保できるか否かを確認

します。確保できない時間帯には、

一部の遠隔科目をオンデマンド型に

切り替えることとしました。このよ

うな精緻な方法により、教室密度の観

点から遠隔授業とせざるを得ない科

目についても可能な限りZoomによる

リアルタイム形式を採用できるように

しました。

また、協定留学についても、2021

年秋学期からは一部の国への派遣を、

2022年春からは基本的にすべての

協定留学及び英語コミュニケーション

学科のカナダ・レスブリッジ大学への

派遣を再開しました。さらに、課外活

動についても、大会等の参加を前提と

した練習のための学内施設の利用を

2021年秋学期から再開しました。

このようにニューノーマルへの歩み

を進める中で、学生の皆さんには多く

の負担をおかけしてきました。学内

でのWi-Fi接続が安定しない、換気を

確保するために教室の一部の窓を

開放する方式を採用していたため、

12月以降には暖房をフルに運転して

も室内気温が十分に上がらない、など

の事態が発生しました。全力を挙げ

てこれらの問題に対応しましたが、依

然としていくつかの課題は残っていま

す。さらに、昼食時には徹底した黙食

をお願いすることとなり、友人たち

との昼食時の交流という、さまざま

な刺激を与えあう機会も確保できま

せませんでした。また、留学や短期海外研修

を断念せざるを得なかった皆さんも

多くいました。あらためて、この1年

間、学生の皆さんに引き続きさまざ

まな負担をおかけしたことをお詫び

申し上げます。

本稿執筆時点で、2022年度春学

期は基本的にすべての科目を対面形

式で実施すべく準備を進めています。

一方で、オミクロン株による感染者数

も急増しています。いずれにしろ、完

全なる「ノーマル」への復帰への道筋は

必ずしも鮮明には見通せません。しか

しながら、この1年間の漸進的な歩み

の中で得た教訓を踏まえて、本学とし

ての「ニューノーマル」の確立に向けて

教職員一同、引き続き全力を傾けて

いく所存です。





# 環境教育センターが大切にしていること

環境教育センター所長 日本文化学科  
教授 品川 明

皆さん ごきげんよう 今回は環境教育センターが大切にしていることを話します。センターは21世紀の国際社会で活躍する人の基礎的素養の一つとして、環境に対する配慮・他の生命体との共存を意識した世界観を持つことが重要であるとの認識から、国際文化交流学部環境教育センター（以後、センターと略す）が設置されています。これを実現するために掲げているモットーがあります。それは学歴（知識）よりも食歴（体験や気づき）を育む教育です。これは知識のベースに体験を通した自らの気づきがあることの大切さを示しています。これを端的に表すABCモデルとCBVモデルがあります。ABCとはActivity before Concept、これは、「まず、ヤッテ観ましょう。次に、感じて気づいて観ましょう。そして、気づいたことや発見したことを簡単な言葉で表現してみましょう!」です。CBVはConcept before Vocabulary、これは「専門用語を把握する前に、大切なことはABCに沿った体験が大切であり、その結果自ら形成したConcept（概念）があってはじめて専門用語がある」です。今の多くの教科書はその逆パターンを示しているように感じます。

学歴よりも食歴を育む取り組みとして、センターでは食と農の体験教室と親子エコサイエンス教室を実施しています。その一部を写真で紹介します。食と農の体験教室は以下のような教室です。

- ①食と農、食と人、食と生き物、食と自然、食と環境との繋がりを認識し、食を栄養面だけでなく、文化的視点と社会性や精神性の観点から深く捉えることができる。
- ②食べるもの、食べること、食べかたを通し、食や生き物、人や環境への感謝、他者への思いやりの気持ちを育むことができる。
- ③生き物や食べ物を観察することや実験・調理することにより、食や生き物への好奇心や探究心が育ち、内発的・自発的に自由研究に挑む姿勢を育むことができる。
- ④これらにより、学習院の教育目標のひろい視野、たくましい創造力、ゆたかな感受性が培われる。また、これら体験教室を体感することによって、自分の考えを持ち、内発的で自発的な行動が可能になるとともに多様な価値観を形成する。

この視点からの1回目から5回目までの作業をご覧ください。

1回目は手植えによる田植えです。水田の泥の感触を足や手で感じながら、参加者の親子が横1列に並び稲束から2、3本取り分けた稲を植えていきました。



2回目は無農薬で育てるために学習院女子大学の学生が田の草取りを実施しました。また、これは第3回目の子ども達の体験、田の草取りと生物調査のための予備調査でもあります。米を作ることの工程の一部を体感することになりました。





3回目は本番の子ども達による田の草取りと生物調査です。幼稚園チームと初等科チームにわかれて調査し、多くの生き物が田の中で稲と共存していることを実感しました。



4回目は稲刈りと生物調査です。親子が協力しながら鎌を使って根元から稲を刈り取り、数株ずつを束ね干す作業です。農業の仕事が自然とともに生き、自然の大切さを実感していました。



5回目はしめ縄作りと御萩作りです。餅米の藁と粳米の藁の違いを学び、親子で協力してしめ縄を作り農村体験の中で行事に秘められた伝統などを体験しました。前回収穫した餅米で御萩を作り餡やきな粉をつけて味わいました。また、冬が旬の埼玉県特産の里芋の収穫を体験しました。



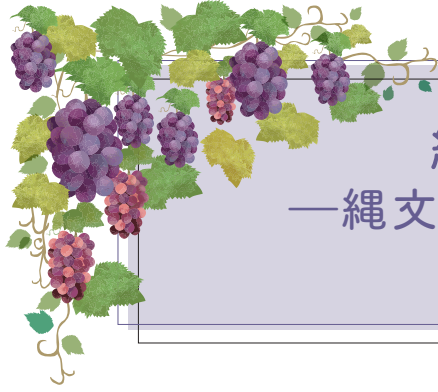
このように人は自然の中の一部であり、人が生きている事実は、いろいろな生き物(時に植物であったり、動物であったり)のお蔭であり、太陽や空気や水や土の恵みのお蔭でもあることを体感することになりました。

センターが大切にしている「5つのところ(有り難う・頂きます・ご馳走様・勿体無い・お陰様の心)」と「ひふみよいむ

なやこと=日・風(空気)・水・土・稲・虫・魚・鳥・牛・人」や「お椀の中に地球がみえる」を体感することになりました。

今後も多くのアクティビティを通じ、体験することと概念を自身で獲得することの大切さを感じてもらい、感受性豊かな人づくりに資したいと考えています。





# 縄文人は酒を飲んだのか？ —縄文時代の果実酒利用研究の現状と課題—

日本文化学科 准教授 工藤 雄一郎

皆さんお酒は好きですか？  
お酒といえば日本酒やビール、  
ワイン、焼酎、ブランデーなど  
様々な種類があります。皆さん  
はお酒に強い方ですか？弱い方  
ですか？現代の日本人でお酒に  
強いタイプは6割弱、飲めるけ  
ど赤くなるタイプが4割、全く  
飲めない人の割合は5%以下で  
あることがわかっています。日  
本列島で暮らした人々はいつか  
からお酒を飲んでいたのではし  
ょうか？3世紀の『魏志』倭人伝に  
は、倭人は「歌舞飲酒」と書  
かれており、弥生人がお酒を飲  
んでいたことは間違いないよう  
です。

では、縄文人はお酒を飲んで  
いたのでしょうか？最近の古代  
DNAの研究では、縄文人はお  
酒に強い遺伝子を持っているこ  
とがわかっています。実は縄文人  
がお酒を飲んでいたか否かの研  
究は1960年代から行われて  
います。約5千年前に登場した  
樽形をした有孔罎付土器で、縄  
文人が野生のヤマブドウを使っ  
て果実酒を作っていたのでは？  
という議論や、約4千年前に登  
場する注口土器という急須のよ  
うに液体を注ぐ形をした土器こ

そ縄文時代の酒器ではないか、  
という議論が行われてきました。  
一方で、実験考古学的な研究に  
より、縄文時代にも野生のヤマ  
ブドウやサルナシ、ヤマグワなど  
の糖度が高い果実を用いれば、  
果実酒を作ることば可能である  
ことも示されてきました。しか  
しながら、お酒そのものは考古  
学的な遺跡には一切残りません。  
そのため、この問題はなかなか進  
展していません。

一方、1970年代以降、低湿  
地遺跡という特別な埋没環境に  
ある遺跡から出土する果実や種  
子を分析する植物考古学の研究  
が盛んになってきました。低湿  
地遺跡では、特定の植物のタネ  
がまとまって出土する場合があ  
ります。縄文人が利用した果実  
の残りがすをまとめて廃棄した  
ような状況を推測させる例があ  
り、1990年代に調査された  
青森県三内丸山遺跡では、多数  
の甘い果実のタネが集積してい  
ました。タネには、ヤマブドウや  
サルナシ、ヤマグワやキハダなど  
が含まれていましたが、最も多く  
含まれていたのはエゾニワトコで  
した。エゾニワトコは夏頃に真っ  
赤な果実を実らせますが、これ

を縄文人はたくさん集めて、  
果実酒を作ったのでは？と主張  
されるようになったのです。縄  
文人の果実酒利用の研究は、こ  
れで決着が付いたかと思われた  
のですが、反対意見もありまし  
た。エゾニワトコを果実酒の主  
原料とするには糖度が低すぎる  
のです。縄文人がエゾニワトコを  
大量に集めて何らかの形で利用  
していたことは間違いないので  
すが、それは果実酒とは別のも  
の（薬用など）だったのではない  
か、という意見です。

これらの問題を解明していく  
には基礎データを集めていくこ  
とが必要です。また、縄文時代の  
低湿地遺跡での果実の集積事例  
をもっともつと調べないといけま  
せん。どんな研究にも基礎研究  
が欠かせません。最近私は、野  
生のヤマブドウやサルナシ、ニワ  
トコなどを採取して、糖度や水  
分量を調べたりしています。縄  
文人は果実酒を飲んだのか？こ  
の問題を一緒に調べたい学生が  
おりましたらぜひ私に声をかけ  
てください。



東北大学植物園名誉教授の鈴木三男先生の協力で、  
北海道標津町で標本採取  
(写真はサルナシ、2021年10月)



エゾニワトコ果実  
(2021年9月、鈴木三男氏提供)



ヤマブドウ  
(北海道標津町で2021年10月に採取)



# 「スパークを探して」

国際コミュニケーション学科

教授 澤田 知香子



私の専門分野は現代のイギリス小説です。エディンバラ出身の作家ミユリエル・スパークのフィクションを研究テーマとしてきました。本格的にスパーク研究に着手したのは、1980〜90年代に隆盛となったポストモダニズムの思想・理論への興味を深めていた、21世紀へと世紀が変わる頃です。スパークとポストモダニズムを二本柱とし、両者に共通するテーマとして現代の世界におけるリアリティの性質とアイデンティティをめぐる問題に焦点を絞りました。主に「カトリック作家」としてしか論じられていなかったスパークを本格的にポストモダニスト作家として論じ、スパーク独自のポストモダニズムを明らかにする試みが、私の研究基盤となり

ました。気づけば、それは、限られた小さな日常世界を生きながら、より大きなこの世界について学ぶプロセスになっていました。スパークのフィクションに向きあう中、ポストモダニズムの思想・理論がよりクリアになることが多々ありました。彼女の22作の小説の中で特に重要な一冊は『運転席』（1970年）でしょう。100頁ほどのノヴェラですが、シャープでエレガントなスパーク・スタイルの極致です。これは、リオタールの『ポストモダンの条件』（1979年）に先んじる、スパークによるポストモダンの寓話—というのが私の見解です。『運転席』では、さまざまな境界が崩れ、資本主義・消費文化を軸にグローバル化してゆく世界のリアリティが捉えられています。

この小説世界で人はモノや情報と等価のオブジェクトとして世界を巡ります。2021年の現在、「人流」という語が「物流」と同じように使われ、それをコロナ禍における偶発的事象ではなく現代という時代の症状と見ることも今ならば容易かもしれません。半世紀以上前に書かれた『運転席』も含め、スパークの小説世界では、21世紀を生きる私たちの目の前にある世界のリアリティがすでに思いがけない形で立ち現れ、そこにある問題を曝けだしています。「世界はどこへ行くのか？」—『運転席』に登場する「啓蒙グループのリーダー」を名乗る男の講演タイトルです。いかがわしいな登場人物の講演はさておき、この問いには作家自身の声が響いていそつです。



火花の鋭い光が驚くべきヴィジョンを与えるように、スパークのフィクションは世界や私たちのリアリティに目を開かせ、心を解放します。そんな火花の正体とヴィジョンの両方に、私が新しいパースペクティブから光をあてようと、スパーク探求を続けています。さて、「正典」重視が主流となってきた英文学研究ですが、ある出版社による「イギリスの現代作家」シリーズの企画にはスパークの名が含まれています。最近の嬉しいニュースです。もちろん、私が執筆する予定です。



左は工藤雄一郎准教授

# 新任専任教員紹介

英語コミュニケーション学科 教授

## D. ギュンター



### 略歴

1967年ドイツ生まれ。フライブルグ大学卒業（英語学・英文学専攻、ドイツ語学・ドイツ文学専攻）、広島大学大学院文学研究科博士課程修了。博士（文学）。鳴門市ドイツ館嘱託職員、徳島大学非常勤講師、同大学教養教育院准教授を経て2021年4月より現職。ロバート・E・ハワードとバルブ研究誌『The Dark Man』査読委員（2021〜現在）、ロバート・E・ハワード協会「新進研究者賞」（2017）、「特別功労賞」（2020）受賞。

### 私の研究

私の専門分野はアメリカ文学です。その中でも主に2つの分野に取り組んでいます。ひとつ目の研究テーマであるロバート・E・ハワードは、ファンタジーのサブジャンルである「ソード&ソーサリー」の考案者で、「コナン・オブ・シメリア」の作者として知られています。ハワードがファンタジーというジャンルや大衆文化に与えた影響は非常に大きく、『ゲーム・オブ・スローンズ』の著者であるジョージ・R・R・マーティンのような作家も、作品に影響を与えた人物とし

て彼の名前を挙げています。ハリウッド映画（コナン・ザ・グレート、1982年）やマーベルコミックなど、彼の作品にアレンジを加えた大衆文化での人気のために、彼が生み出したキャラクターは薄っぺらな暴力賛美のファンタジーに過ぎないという誤ったイメージを持たれ、彼の文学作品は「典型的な三流文学」という不当な評価を受けています。しかしテキサスの歴史、文化、地域精神が彼の作品に与えた影響と、彼がこれらの要素すべてをどのように物語や登場人物に組み込んでいるかを見るにつけ、実際の彼はアメリカ文学研究において未だにその重要性が見過ごされている「地域作家」であると私は考えています。

2つ目の研究テーマは、ロバート・E・ハワードに加え、H・P・ラヴクラフトやクラーク・アシュトン・スミスといった作家の物語も掲載していたバルブ・フィクション誌『ウィアード・テールズ』についてです。バルブフィクションの中でも特に『怪奇小説』が幻想文学に与えた影響、『怪奇小説』作家同士の交流が生み出した反響、『怪奇小説』の物語構造が現代のエンターテインメント（テレビドラマ、映画、コミック、テレビ番組）にどのように反映されているか、また、マーガレット・ブランデージとJ・アラン・セント・ジョンによる『ウィアード・テールズ』のカバーアートが、現代のアートやコミックに与えた影響についても注目しています。授業では、実際にアメリカの作家、編集者、アーティストなどから直接話を聞く機会も設けていくつもりです。

## 令和3年度 客員研究員受入一覧

|   | 氏名     | 所属                | 受入部署   | 研究テーマ                                                          | 共同研究者 | 受入開始         | 受入終了          |
|---|--------|-------------------|--------|----------------------------------------------------------------|-------|--------------|---------------|
| 1 | 門間 卓也  | 関西学院大学文学部<br>研究員  | 国際学研究所 | ユーゴスラヴィアにおける<br>市民社会と民族問題                                      | 中島 崇文 | 令和3年<br>4月1日 | 令和4年<br>3月31日 |
| 2 | 四方 八重戸 | 本学国際学研究所<br>客員研究員 | 国際学研究所 | With/Post COVID-19の社会に<br>おける持続可能な開発目標(SDGs)<br>の実現に向けた国際動向と課題 | 畠山 圭一 | 令和3年<br>4月1日 | 令和4年<br>3月31日 |



# 国際学研究所(GIIS)だより

国際学研究所長 国際コミュニケーション学科

教授 金野 純

当研究所は、本学の学部・大学院の教育理念の達成を図るために設けられた付属教育研究機関です。二〇一三年四月に組織されて後、九年が経とうとしています。研究および活動分野は(1)国際文化交流、(2)国際問題、(3)比較文化、(4)アジア・太平洋研究、(5)外国における日本研究支援です。

当研究所は海外の研究機関との研究交流協定の締結を積極的におこなうと同時に、国際シンポジウム・研究集会、講演会・セミナー・展示等を開催し、多くの研究所叢書や英文ジャーナルを刊行することによって、学生や社会に開かれた研究の発信をおこなってきました。

昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大は、本学の研究領域にも非常に大きな影響を及ぼしています。特に研究所にとって影響が大きかったのは、本年度前半は対面でのセミナー開催が難しく、さらに海外から研究者を招いて講演会などの活動を行うことがで

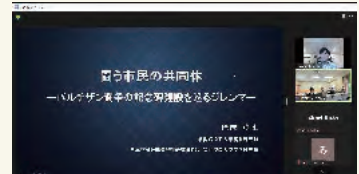
きなかったため、「国際学」を掲げる本研究所の活動全体が、感染症拡大による制約を受けてしまいました。

そうしたなかで研究交流の重要な場となったのが本研究所で発行している英文ジャーナルです。昨年はジュネーブ大学の小幡谷友二先生、パラツキー大学のハリナ・ザヴィシヨヴァー先生による論考が掲載され、海外の日本研究の現場を知ることができました。本年度もジュネーブ大学の柴田亜矢子先生による論考が掲載される予定であり、コロナウィルスの拡大で人的交流が難しい中でも、英文ジャーナルをプラットフォームとした研究交流を継続することができたのは、不幸中の幸いでした。

研究所客員研究員のセミナーとしては、「闘う市民の共同体ーパルチザン闘争の記念碑建設を巡るジレンマ」と題するセミナーが客員研究員の門間卓也氏を迎えてNOODでのハイブリット形式で開催されました。門間先生はユーゴスラヴィア史を概観した上で第二

次世界大戦以降にクロアチアでSUBNORと称する退役軍人組織が設立され、国内だけでなく国際的にも大きな役割を果たしてきた一方、かつてクロアチア人の中には対パルチザン闘争に加担した者もいたことも浮き彫りになったというジレンマが生じたこと、また、一九九〇年代にユーゴスラヴィアで内戦が勃発した後は、戦争の記憶も修正され、激戦地ともなったヴコヴァルという町では記念センターが設立され、平和教育の場としても活用されることになったことなどを包括的にお話いただきました。

また本研究所顧問で、一般社団法人・日本国際教育協会会長でもある大出隆先生の論考「日本語学習、官民で魅力PRを」が『日経新聞』(二〇二二年七月二日)の「私見卓見」コーナーに掲載されました。研究所では現在、大出先生のご



助力を得て日米の政策関係者を招いた大きなフォーラムを本年度の三月に企画しています。感染症の拡大で海外とのスムーズな人的交流が難しい中、できる限りレベルの高い研究成果を公開できるように、研究所なりに試行錯誤を繰り返していきたくと考えています。





国際コミュニケーション学科  
4年  
李佳銀

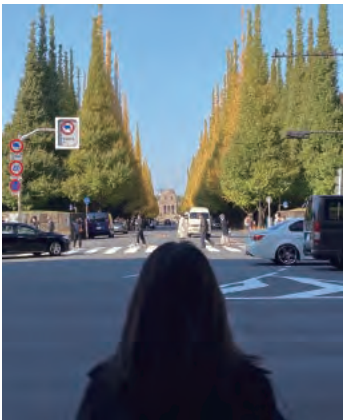
私は国際的な視野を学ぶために日本に留学しました。日本に住む経験のある家族の影響を受けて学習院女子大学の国際コミュニケーション学科に入学しました。大学生活の初旬には授業を完璧に理解することが難しいのでイライラした時期もありましたがその時、学内で出会った友人のおかげで大学生活は無事に過ごせました。学校内外で留学生である私に偏見なく近づくってくれた学友たちに感謝します。また、国際交流推進センターで主催されたイベントに参加して日本の文化についてより深く理解することが可能になりました。留学生向けの交流会、文化体験の機会を提供してくださった学習院女子大学と特に、国際交流推進センターの方々にも感謝な気持ちです。家族や友人のサポートがあり、充実した留学生活になりました。お世話になった皆様本当にありがとうございました。

4年間の大学生活を振り返ると、すべて大切であるので1つ印象的な事を選ぶことが難しいです。しかし、大学生活でやってみたいことがゼミに参加して、同じ関心事を持った学友たちと卒業論文を作成できたのは



私にとって大切な記憶です。途中、コロナ19のためにオンラインでゼミを進める時がありましたが、他のゼミ生の研究を共有するのは貴重な時間でした。約1年間、熱心に卒業論文を作成しましたので、辛いよりはやりがいを感じました。卒業論文を無事に提出することで、大学生活の最後を上手に仕上げたと思います。

最後に 学習院女子大学で4年間、学友、教授と交流し、多様な学問を学びながら世界を眺める視野を広げることができたことは貴重な経験でした。これまで大学で学んだ知識や身につけた教養は社会人になってからも発揮したいと思っています。

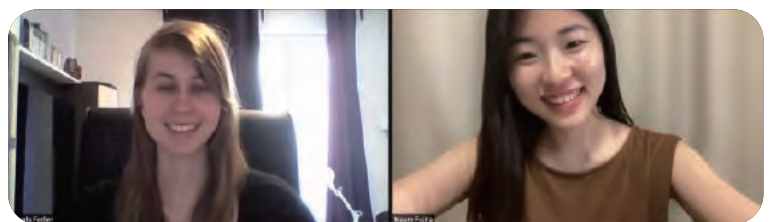


英語コミュニケーション学科  
4年  
藤田 希

私は、ドイツ・ミュンヘン大学にて半年間のオンライン留学をしました。ドイツ三大都市の一つでもあるミュンヘンは、多くの学生が暮らしており、自然豊かで、歴史的にも有名な都市です。残念ながら、新型コロナウイルスの影響で渡航は断念しましたが、新しい試みであるオンライン留学は貴重な経験になりました。

高校時代にミュンヘンを訪れたのをきっかけに、ドイツの文化や人々の暖かさに触れ、学生のうちにもう一度行きたいと感じ、留学を決めました。また、英語コミュニケーション学科生として学びを深めたく、日本と同じ外国語として英語を話すドイツにおいて、実際の英語の使用や英語に対する考え方を学ぶためドイツを選びました。

専攻は自由で、自分の学びたい分野を選ぶことができます。私は英語学を中心に専攻し、加えてドイツ語授業を受講しました。学生の英語運用能力は非常に高く、初めは授業についていくことに精一杯でしたが、日常的に英語を話す機会が多くなり、徐々に慣れていきました。週2回



のドイツ語授業は、レベル別に分かれており、文法からスピーキングまで集中的に学びました。世界各国の学生と交流を図ることもでき

きました。出身国についてドイツ語で紹介するプレゼンテーションは特に印象に残っています。また、卒業論文では、留学で出会った友人やバディに向けて、ドイツにおける英語の使用と彼らの英語に対する態度についてアンケートを集計し、調査結果を元に執筆しました。

このような状況下において、限られた学生生活の中で悔いのないよう、諦めず何事にも挑戦することが大切であると改めて感じさせられました。今後、移動が制限された中で、オンライン留学がより身近なものになればいいと思います。全面的にサポートしてくださった国際交流推進センターの方々、先生方に改めて感謝しております。ありがとうございました。



# 4月

- 16日 留学生おしゃべりミーティングwith GP部
- 22日 協定留学説明会
- 23日 海外プログラムについてのガイダンス
- 27日 留学経験者との座談会
- 28日 IELTS説明会
- 30日 TOEFL説明会

国際交流活動を行う「Global People部」の皆さんと留学生がZoomで気楽に話す「おしゃべりミーティング」を開催しました。

## 2021 国際交流推進センター 行事報告

※交流行事等は、特に記載のない限りすべてZoomにて実施しました。



# 5月

- 18日 留学生おしゃべりミーティングwith GP部

本学で学ぶ協定留学生や私費留学生が自分の母国や所属大学を紹介する会を、定期的に開催しています。今年度はすべてZoomで実施しました。

「きもの文化部」の皆さんにご指導いただき、留学生たちが浴衣の着付けを体験しました。全員、素敵に着ることができました！



# 6月

- 5日 霞会館助成 歌舞伎鑑賞教室(国立劇場)
- 9日 留学生の話を聞こう!(台湾・ラオス)
- 16日 留学生ランチ交流会(台湾・ラオス)
- 17日 留学生おしゃべりミーティングwith GP部
- 19日 カリフォルニア大学テビス校プログラムガイダンス



- 1日 留学生ゆかた体験
- 9日 協定留学生を送る会
- 8日 留学生の話を聞こう!(イギリス)
- 10日 TOEFL ITP 学内受験
- 15日 留学生ランチ交流会(イギリス)

# 7月



- 24日 協定/ダブルディグリー留学説明会
- 29日 留学経験者との座談会
- 30日 IELTS説明会

# 9月

# 11月

- 18日 留学生おしゃべりミーティングwith GP部



# 10月

- 1日 TOEFL説明会
- 18日 留学生おしゃべりミーティングwith GP部
- 25日 留学生の話を聞こう!(韓国)
- 30日 TOEFL ITP 学内受験



# 12月

- 11日 霞会館助成 文楽鑑賞教室(国立劇場)
- 16日 留学生の話を聞こう!(ドイツ・ベトナム)
- 21日 霞会館助成 留学生寄木細工体験
- 22日 留学生おしゃべりしながら折り紙ミーティング with GP部

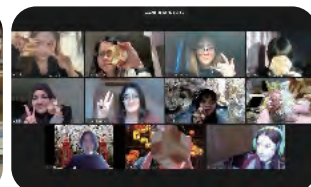
# 1月

- 14日 留学生十二単体験会(衣紋道さくら会による)
- 17日 協定留学生を送る会
- 22日 尚友倶楽部助成 留学生日本語スピーチコンテスト



(発表者のみ来場し、Zoomにて配信しました)

Zoomを通じて職人さんにご指導いただき、各自の自宅で寄木細工やつるし雛を作る体験をしました。



# 2月

- 25日 霞会館助成 つるし雛作り体験



# 3月

## 留学制度について

本学在学中に留学するには、以下の4つの方法があります。

- ① **協定留学**: 学内選考を経て、協定大学に留学すること。
- ② **私費留学**: 学士の学位授与権のある大学または当該大学に直結する附属機関に、事前に本学の許可を受けた上で留学すること。  
(留学先は自分自身で選択。プログラムの内容によっては留学と認められない場合もあります。)
- ③ **ダブルディグリー留学**: 海外の大学に留学し、それぞれの大学で修得した単位の一部を両大学が相互に単位認定することで、両大学の学位を取得すること。(本学はカナダのレスブリッジ大学との間でダブルディグリー協定を締結しています。)
- ④ **その他の留学**: 本学を休学して、海外の語学学校・専門学校などで留学すること。(夏休みなどの長期休暇を利用して留学する場合には休学する必要はありません。)

| 区分         | 留学期間                                                          | 単位認定 | 学費                | 備考                      |
|------------|---------------------------------------------------------------|------|-------------------|-------------------------|
| 協定留学       | 原則2学期(1年間)                                                    | 可    | 本学学費全額納入・協定校学費免除  | 1学期(半年間)の留学も可能・4年間で卒業可能 |
| 私費留学       | 原則2学期(1年間)                                                    | 可    | 在籍料相当額納入・留学先学費は自費 | 1学期(半年間)の留学も可能・4年間で卒業可能 |
| ダブルディグリー留学 | ①2年次秋学期から留学する場合: 原則5学期(2年6ヵ月間)<br>②3年次秋学期から留学する場合: 原則4学期(2年間) | 可    | 在籍料相当額納入・留学先学費は自費 | 最短5年間で卒業                |
| その他の留学     | 1学期～学期に定める休学可能期間内                                             | 不可   | 在籍料相当額納入・留学先学費は自費 | 休学扱い・4年間で卒業不可           |

## 協定留学について

### 1. 協定留学とは

本学では、現在15の国・地域の23校の大学と交換留学協定を締結しています。この23校の協定大学へ、学内の選考を経た上、本学より推薦を受けて派遣されることを協定留学といいます。

### 2. 学生交換・派遣プログラムのある協定大学一覧(2022年2月現在)

| 国名    | 大学名/所在地                    | 語学力の目安 ※①、②、③                                                                  |
|-------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| イギリス  | リーズ大学<br>リーズ/ウェスト・ヨークシャー州  | IELTS 6.0(Overall)以上<br>各5.5(L, R, W & S)以上                                    |
| フランス  | 西部カトリック大学<br>アンジェ          | ヨーロッパ言語共通参照枠B2レベル                                                              |
| イタリア  | ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学<br>ヴェネツィア | 新規協定校のため未定。<br>募集時にお知らせします。                                                    |
| ドイツ   | ハンブルク大学<br>ハンブルク/ハンブルク州    | ゲーテ・インスティテュート・<br>ドイツ語検定B1レベル程度<br>または ドイツ語検定試験2級程度                            |
|       | ミュンヘン大学<br>ミュンヘン/バイエルン州    | ゲーテ・インスティテュート・<br>ドイツ語検定B1レベル程度<br>または ドイツ語検定試験2級程度<br>またはIELTS 5.5(Overall)以上 |
| チェコ   | パラツキー大学<br>オロモウツ           | TOEFL iBT 72点以上 または<br>IELTS 5.5(Overall)以上                                    |
| ポーランド | ワルシャワ大学<br>ワルシャワ           | TOEFL iBT 75点以上 または<br>IELTS 5.5(Overall)以上                                    |
| ルーマニア | ブカレスト大学<br>ブカレスト           | TOEFL iBT 72点程度 または<br>IELTS 5.5(Overall)以上                                    |
| エストニア | タリン大学<br>タリン               | TOEFL iBT 72点以上 または<br>IELTS 5.5(Overall)以上                                    |
| 中国    | 清華大学<br>北京                 | 中国語検定試験(HSK)4級以上 または<br>中国語検定試験3級以上                                            |
| 韓国    | 誠信女子大学<br>ソウル              | 一般韓国語能力試験(S-TOPIK)<br>中級程度 または<br>ハングル能力検定試験4級程度                               |
|       | 梨花女子大学<br>ソウル              | 一般韓国語能力試験(S-TOPIK)<br>中級程度 または<br>ハングル能力検定試験3級程度                               |

※① 語学力の目安は2022年2月現在のものであり、協定校側から変更通知がある場合があります。

※② L=Listening, R=Reading, W=Writing, S=Speaking

※③ 学部により異なる場合があります。

※④ 私費による派遣のみとなります。

| 国名      | 大学名/所在地                                          | 語学力の目安 ※①、②、③                                                                          |
|---------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 台湾      | 実践大学<br>台北                                       | TOEFL iBT 50点以上 または<br>IELTS 5.5(Overall)以上<br>各5.0(L, R, W & S)程度                     |
|         | 静宜大学<br>台中                                       | 中国語検定試験(HSK)3級以上 または<br>中国語検定試験3級以上                                                    |
|         | 高雄大学<br>高雄                                       | 中国語検定試験(HSK)3級以上 または<br>中国語検定試験3級以上                                                    |
| ラオス     | ラオス国立大学<br>ビエンチャン                                | TOEFL iBT 57点以上 または<br>同等レベルの英語能力                                                      |
| オーストラリア | ディーキン大学<br>メルボルン/ヴィクトリア州                         | 新規協定校のため未定。<br>募集時にお知らせします。                                                            |
| アメリカ    | ウェストアラバマ大学<br>リビングストン/アラバマ州                      | TOEFL iBT 61点以上 または<br>IELTS 6.0(Overall)以上<br>各5.5(L, R, W & S)程度                     |
|         | カリフォルニア大学デービス校 ※④<br>デービス/カリフォルニア州               | TOEFL iBT 80点以上 または<br>TOEFL PBT(ITP) 550点以上 または<br>IELTS 6.5(Overall)以上               |
|         | ボーリンググリーン州立大学<br>ボーリンググリーン/オハイオ州                 | TOEFL iBT 71点以上 または<br>TOEFL ITP 500点以上 または<br>IELTS 6.0(Overall)以上                    |
|         | ミズウリ南部州立大学<br>ジョプリン/ミズウリ州                        | TOEFL iBT 60点以上 または<br>IELTS 6.0(Overall)以上<br>各5.5(L, R, W & S)以上                     |
| カナダ     | ノーザンブリティッシュコロンビア大学<br>プリンスジョージ<br>/ブリティッシュコロンビア州 | TOEFL iBT 88点以上<br>IELTS 6.5(Overall)以上<br>各6.0(L, R, W & S)程度 または<br>TOEFL ITP 570点以上 |
|         | レスブリッジ大学<br>レスブリッジ/アルバータ州                        | TOEFL iBT 70点程度 または<br>IELTS 6.0(Overall)以上 または<br>TOEFL ITP 550点以上                    |

## 国籍別留学生受入数 2021年12月1日現在

| 国籍    | 国籍別総数 | 合計 | 60 |
|-------|-------|----|----|
| 中国    | 29    | 私費 | 50 |
| 韓国    | 12    | 協定 | 9  |
| 台湾    | 2     | 国費 | 1  |
| 香港    | 3     |    |    |
| エストニア | 2     |    |    |
| ベトナム  | 2     |    |    |
| マレーシア | 2     |    |    |
| カンボジア | 1     |    |    |
| ギリシャ  | 1     |    |    |
| スロバキア | 1     |    |    |
| チェコ   | 1     |    |    |
| ドイツ   | 1     |    |    |
| ポーランド | 1     |    |    |
| ラオス   | 1     |    |    |
| ルーマニア | 1     |    |    |

「留学」の在留資格を持つ者および  
コロナ禍の影響により来日できて  
いない者を含む。

## 本学学生派遣数 2021年12月1日現在

| 国    | 人数 |
|------|----|
| 韓国   | 2  |
| ドイツ※ | 2  |
| 合計   | 4  |
| 協定   | 4  |
| 私費   | 0  |

※オンライン派遣

2021年4月1日以降に留学を開始  
した学生数をカウントしています。

## 留学説明会について

留学に興味のある方は、  
留学説明会に  
出席してください。

春派遣は4月、秋派遣は9月に開催を予定  
しています。日時の詳細は、G-Portでお知  
らせします。



## E.S.S.部

ごきげんよう。学習院女子大学E.S.S.部です。私たちは月曜日と金曜日の18時から20時まで学習院大学と合同で活動を行っています。主な活動目的は、英語を使用して学生同士の交流を深めること、年間活動を通じての英語力の向上です。私たちE.S.S.部は他大学では類を見ない「オールセクション制」を取っています。オールセクション制とは、通常入部の際にディスカッション・ディベート・ドラマ・スピーチの中から一つ自分の所属したいセクションを選択し、そこに所属し引退まで活動を行います。しかし、私たちの場合はセクションの選択を行わず、1年間で4つ全ての活動を全員で行います。1年間で4活動を行うことによって、ここでしか経験することの出来ないことを経験でき、それが私たちの大きな魅力の一つです。



このE.S.S.部でしか経験できないことの一つの例として、ドラマ活動があります。ドラマ活動とは部員全体をいくつかの班に分けて、学習院の学園祭での公演に向けて各班で演技や演出を競い合います。3年生が監督を務め、1・2年生がキャストとして出演します。部員のほとんどが演技そのもの、英語での演劇は未経験ですが上級生の指導の下、班員と力を合わせて学園祭公演を目指します。ドラマ活動は決して楽しいだけの活動ではありませんが、大変な思いをした分、どの部員にとっても特別な思い出となります。

コロナ禍という状況下でまだまだ出来ないことも多くありますが、少しでも多くの方にE.S.S.部の魅力が伝わるよう日々活動していきたいと思います。

英語コミュニケーション学科 3年  
野口 さくら

## 競技ダンス部

ごきげんよう。競技ダンス部です。私達は立教大学と提携しており、週に2回立教大学の施設と学習院女子大学の体育館で活動しております。競技ダンスとは、以前テレビで芸人のキンタロー。さんが大会に出場していた様な、男女でペアを組んで踊る社交ダンスのことです。「競技ダンス」と聞くと難しそうなイメージがありますが、初心者でも先輩が優しく教えて下さいます。入部しているほとんどの人は大学から競技ダンスを始めていて、実は私も大学に入学してから始めました。競技ダンス部は、「綺麗なドレスを着たい!」「大学で新しくスポーツを始めたい!」という方にオススメです。



競技ダンス部の魅力は、イベントが盛り沢山なところです。10月のハロウィンではコスプレをしてハロウィン練習会を開催し、2月にはシャドーコンテスト、3月には卒部をする4年生を送るラストワルツなど季節に合ったイベントが多くあります。様々な種類のイベントがあることが、先輩後輩同士仲が良い一因だと考えます。

また、日々の練習の成果を発揮する場として、大会も多く開催されています。大会で入賞するという事を目標にして、練習会以外の日にも自主練を行うなど個人個人が主体性を持って活動しております。

現在コロナ禍で思うように練習をすることが難しい状況ですが、私達競技ダンス部はこれからも練習に励み、良い成績を残せるように精進して参ります。応援よろしくお願いたします。

日本文化学科 2年  
山田 実侑

## 衣紋道さくら会愛好会

ごきげんよう。衣紋道さくら会愛好会です。私たちは、本学有職故実の講師である永井とも子先生のご指導の下、第1・2・3金曜日に 十二単の着装のお稽古を行っています。十二単の着装を通じて、国際社会に生きる女性の基礎教養としての日本の伝統文化を学んでいます。

衣紋道とは、宮廷装束に関する知識や着装技術のことです。衣紋道には高倉流と山科流の二つの流派があります。高倉流は日本を代表する流派であり、衣紋道さくら会は高倉流の御宗家からも承認されている愛好会です。雅祭や和祭などの学内イベントだけではなく、2017年度には「東京2020オリンピック・パラリンピック文化イベント



MERRY SMILE SHIBUYA for 2020」などの外部イベントでも着装披露を行いました。さらに「日・タイ文化ふれあい交流フェスティバル」での両国においての着装披露では、タイの王室関係者にもご臨席いただき、大変貴重な経験となりました。

近年は対面での活動がほとんどできない状態でしたが、オンライン上で可能な限り練習を積み重ねた結果、2022年1月には学内の留学生を対象とした「十二単体験会」を開催することができました。また、大学案内のパンフレットにも2022年度より本会が掲載されるようになりました。

現在も対面での積極的な活動が難しい状況ではありますが、これからも日本の伝統文化を継承していくという強い責任感を持ち、相手のことを気遣える自立した女性へ成長していけるよう精進してまいります。

日本文化学科 3年  
志村 奈菜美

ごきげんよう。雅祭実行委員会です。

雅祭とは、毎年4月に行われる新入生歓迎会です。本学の公認課外活動団体の紹介や、新入生同士の交流の場となるような企画を行い、新入生の皆さんが本学でのこれからの学生生活を快適に過ごせるような場所を提供しています。

今年は新型コロナウイルスの感染拡大により、従来のように学内で開催することができなくなりました。そのため、新入生が気軽に楽しむことができるよう、初のオンライン開催を行いました。YouTubeで公認課外活動の紹介動画を流したり、WEBサイトで公認課外活動を簡単に探せ

るようしたり、パンフレットをPDF化して配布したりし、更にTwitterで情報を積極的に発信しました。

新型コロナウイルスの影響でオンライン授業が始まったことで、学校に行く機会が失われつつあります。その中で、新入生と団体の双方にとってよりよい雅祭を作ることができたと自負しております。新入生の皆さんには、抱えている不安を解消して楽しい大学生活を送っていただきたいという思いのもと、委員一同活動してまいりました。新入生の皆さんにとって、この雅祭が新しい一歩を踏み出せる契機になっていましたら幸いです。

最後に、ご協力くださった教職員の皆様、各団体の皆様、関係者の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。



令和3年度 オンライン雅祭パンフレット



# 「和祭」を振り返って

やわらぎさい

2021年度実行委員長  
日本文化学科 3年

河口 未来

ごきげんよう。今年度の和祭も新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し10月9日、10日にオンライン上での開催となりました。今年度も受験生や学習院女子大学の学生、そして家族の方々など多くの方々に「視聴いただき、大変嬉しく思っております。

2回目のオンライン開催となる今年度の和祭は、「繋(きずな)~reconnect~」をテーマに委員一同、活動を進めてまいりました。新型コロナウイルスが猛威を振るい、顔を合わせて話すことが難しくなった昨今。仕事の打ち合わせや学校の授業、大好きな友人との何気ない会話も画面を通してオンライン上で行う毎日。今までは当たり前だった「人との繋がりの大切さや有難さを、改めて強く感じるようになりました。このような状況だからこそ、私たちは明

るい未来への希望を持ち、互いに協力し合って一歩ずつ前へ進んでいきたいと考えました。仲間とのキズナを深め合い、たくさんの方と「心の繋がりを」結ぶことができますように。今年のテーマ「繋~reconnect~」にはこのような願いが込められています。

新型コロナウイルスの感染状況が刻一刻と変化する中で、大学祭を対面での開催も視野に入れて進めるべきか、それとも早期にオンライン開催と決定し、時間をかけて念入りに準備を行うべきか各部門長と何度も会議を重ねました。今私たちにできる事は何か、今だからこそ私たちにできる事は何かを考え、全国の受験生に学習院女子大学の魅力を動画で伝えるという結論に至りました。オンライン開催であれば、対面での和祭に来場することが難しい遠方の受験生

にも楽しんでいただけるはずだと考えたからです。

動画を制作した部署は感染対策を徹底的に講じながら、動画の構成から役割分担、撮影、編集作業まで行いました。部署の垣根を越えて複数部署合同で動画制作を行い、実行委員も今年度のテーマである「繋(きずな)」を深めることができました。また、オンライン開催でも例年の和祭の雰囲気味わっていたதாக、配信でのトークショーや華やかな舞台のミスコテスト、ミスコンファイナールも無事に実施することができました。さらに、和祭公式ホームページも実行委員が一から制作して広報活動を盛り上げるなど、オンラインだからこそできる活動も積極的に行うことができました。

コロナ禍における和祭は本番当日だけでなく、会議をはじめとす

る実行委員の活動の多くをオンラインで行う必要があり、200名の実行委員とどのように準備を進めるべきか実行委員長として葛藤した日もありました。しかし和祭が無事に成功し、制限がある中でも一人ひとりが協力して力を合わせれば素晴らしい作品ができるのだと実感しました。実行委員の皆とともに「心の繋がりを」感じられる素敵な和祭を創ることができ、大変嬉しい事です。和祭の活動を通して深まった「繋(きずな)」は大切な宝物です。本当にありがとうございました。

最後となりましたが、和祭の開催・運営にあたりご理解・ご協力をいただきました教職員の皆様、地域、企業の皆様、卒業生の方々、そして在校生の皆様へ、あらためて実行委員一同、心より御礼申し上げます。





# 就職力

## キャリア支援スケジュール (2022.1.31時点)

| 開催月 | セミナー内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・＜22卒＞内定獲得に向けた就活セミナー</li> <li>・23卒・新卒採用の市場動向～今から何をすべきか～</li> <li>・就活ゼミ説明会</li> <li>・自分にベストな企業の見つけ方／業界・企業・職種を知ろう</li> <li>・自己PR&amp;ガクチカ作成講座</li> <li>・自分の理想を叶える働き方を見つける講座</li> <li>・インターンシップガイダンス</li> <li>・(全2回)公務員セミナー＜第1弾＞～公務員試験概要&amp;学習方法～他</li> <li>・業界企業研究&amp;キャリアUSC活用講座</li> <li>・優良企業をみつけよう！会社四季報を読み解く6つのポイント</li> <li>・玉手箱対策講座</li> <li>・WEB面接対策セミナー</li> <li>・(全2回)自己PR・ガクチカ添削相談会①②</li> <li>・どこまでできていれば大丈夫？～就活準備4月編～</li> <li>・インターンシップ志望動機作成講座</li> </ul> |
| 5月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己PR・ガクチカ添削相談会③</li> <li>・大手企業人事経験者による“どこでも通過するES・企業側の評価ポイントを知ろう”</li> <li>・(全4回)就活ゼミ</li> <li>・就職四季報活用術～入社後に活躍できる企業の選び方～</li> <li>・自己PR作成講座</li> <li>・筆記試験(Web試験含む)対策講座</li> <li>・志望動機作成講座</li> <li>・個人ES添削体験セミナー</li> <li>・キャリア支援部×大手マスコミ関連会社職員による「就職質問・相談会」</li> <li>・公務員セミナー＜第2弾＞市役所で働くには</li> <li>・面接対策基礎講座(座学編) 個人・集団面接/GDについて知ろう！</li> <li>・どこまでできていれば大丈夫？～就活準備5月編～</li> <li>・個人模擬面接体験セミナー</li> <li>・元人事が教える！グループディスカッション体験セミナー(実践編)</li> </ul>                  |
| 6月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いよいよ情報解禁！インターンシップ成功セミナー</li> <li>・ワークルール出前講座</li> <li>・(全10回)就活ゼミ</li> <li>・企業訪問時のマナー講座(所作/身だしなみ/メイク/髪型)</li> <li>・女性の働き方講座～総合職と一般職を比較してみよう～</li> <li>・公務員セミナー＜第3弾＞公務員の仕事の魅力</li> <li>・就職活動に差がつく！日経新聞の読み方・業界研究講座</li> <li>・優良BtoB・隠れた中堅中小企業の探し方</li> <li>・どこまでできていれば大丈夫？～就活準備6月編～</li> <li>・(全3回)内々定者による就職活動のススメ</li> <li>～先輩それぞれの内々定までの道のり～</li> <li>・自己PRを見直そう&amp;&lt;4年生対象&gt;求人紹介セミナー①</li> </ul>                                                                  |
| 7月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・女子大学合同企業説明会</li> <li>・＜2年生対象＞今！知っておきたい！就活・将来に必ず役立つ話</li> <li>・＜1年生対象＞これからの大学生活、どう送る？就活・将来を少し考えてみよう</li> <li>・(全6回)内々定者による就職活動のススメ</li> <li>～先輩それぞれの内々定までの道のり～</li> <li>・公務員セミナー＜第4弾＞～夏からはじめる公務員試験の学習方法～</li> <li>・企業が採用したいと思う志望動機を再確認</li> <li>・＜4年生対象＞求人紹介セミナー②</li> <li>・どこまでできていれば大丈夫？～就活準備7月編～</li> </ul>                                                                                                                                                           |
| 8月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験対策講座(非言語)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 9月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アナウンサー試験対策講座</li> <li>・(全3回)就活ゼミ</li> <li>・後期 就活スタートアップ講座～後期にやるべきことが分かる！就活準備講座～</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人留学生の就職活動について</li> <li>・(全2回)就活ゼミ</li> <li>・入社10Gのホンネ</li> <li>～働くリアルに迫り、自らの理想の働き方をイメージしよう～</li> <li>・(全9回)内定者からの「就活How to」セミナー</li> <li>・公務員セミナー～秋からはじめる公務員試験対策～</li> <li>・インターンシップ振り返り講座～本選考で納得の一社へつなげるために～</li> <li>・女子大学合同企業説明会</li> <li>・会社四季報を活用した業界・企業研究のススメ</li> <li>～ココを見れば分かる！伸びる会社、伸びない会社～</li> <li>・業界研究一視野の広げ方</li> <li>・どこまでできていれば大丈夫？～就活準備10月編～</li> <li>・いよいよ本番！確実な得点アップにつながる「筆記試験対策」講座</li> </ul>                                                    |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(全14回)業界研究ランチセミナー</li> <li>・“人事経験者が伝える”どこでも通過できるESのポイントとは？</li> <li>・面接突破の第一歩！「集団面接」対策セミナー</li> <li>・急激に増加する選考のトレンド！「動画選考」および「Web面接」対策セミナー</li> <li>・オンラインOBOG訪問会</li> <li>・デザイン思考テスト対策講座</li> <li>・オンラインでもオフラインでも印象UPする就活メイク講座</li> <li>・どこまでできていれば大丈夫？～就活準備11月編～</li> </ul>                                                                                                                                                                                           |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(全8回)業界研究ランチセミナー</li> <li>・【今知っておくべき！】来年の就職活動予想&amp;新聞で賢く就活講座</li> <li>・＜4年生対象＞オンライン求人紹介③</li> <li>・面接対策セミナー</li> <li>・どこまでできていれば大丈夫？～就活準備12月編～</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 1月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(全3回)業界研究ランチセミナー</li> <li>・玉手箱対策講座</li> <li>・どこまでできていれば大丈夫？～就活準備1月編～</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内業界研究セミナー(60日程参加)</li> <li>・オンラインOBOG訪問会</li> <li>・どこまでできていれば大丈夫？～就活準備2月編～</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 3月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・女子大学合同企業説明会</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

本学では、国際系学部の強みが発揮され、グローバル企業への就職実績が高いことが特徴です。また、市場における一般職の採用者数が減少の一途をたどる中、近年、学生達は様々な業界へチャレンジし、内定を得ています。小規模校のため、各企業への就職者数では大規模総合大学と比較し少数ですが、実就職では高い就職率を打ち出しており、大いに健闘していることがわかります。

### キャリア支援部のサポート体制

キャリア支援部では、年間を通しての個別面談に加え、各学年向けプログラムや学生のニーズに応じたセミナーを企画・実施しています。より多くの学生が参加しやすい授業のない木曜5時限やランチの時間帯を利用したランチセミナーなど、学業と就職活動の両立が図れるよう支援をしています。セミナーのほとんどは全学年対象とし、低学年からのキャリア形成の機会を設けております。コロナ禍の中、個別面談および各種セミナーは全てオンライン開催とし、学生のニーズにあわせて、多彩な企画(4年生による内定報告会やマナー・メイク講座、公務員セミナー、筆記試験対策、グループディスカッション対策、アナウンサー志望者向け講座など)を実施しました。また動画配信も行うことで、学生が多くの情報に触れ、自身のキャリアプランについて考える機会を提供しております。

## 速報！

充実したキャリアサポートにより、  
本学の学生は社会で高い評価を  
いただいています。

## 2021年著名400社実就職率 (卒業生数500人以下の大学)

2 全国女子大 2位

1 全国私立女子大 1位

## 2021年実就職率学部系統別編(国際系) (卒業生数400人以上の大学)

1 全国女子大 1位

\*全て大学通信調べ  
\*著名400社は、日経平均株価指数の採用銘柄に加え、会社規模や知名度、大学生の人気企業ランキングなどを参考に、大学通信が選定

### <令和3年度業界研究ランチセミナー／業界研究セミナー主な参加企業>

(ランチセミナー)PwC京都監査法人、ミキモト、アクセンチュア、あいおいニッセイ同和損害保険、明治田安生命保険、三井物産ケミカル、日本通運、三井倉庫ホールディングス、コナミグループ、岡三証券、パレスホテル、リコーリース、トランスコスモス、MS&AD事務サービス、キュービータマゴ、スタートコーポレーション、紀ノ國屋、アインホールディングス、三井住友信託銀行、郵船コーディアルサービス、ビューカード、セールスフォース・ドットコム、共栄火災海上保険、稲畑産業、村田製作所  
(業界研究セミナー)積水ハウス、東急エージェンシー、三井住友海上火災保険、三菱UFJ国際投信、ニューオータニ、エヌ・ティ・ティ・データ、国際協力銀行、森・濱田松本法律事務所、東日本旅客鉄道 等60社程度





千葉市役所  
日本文化学科 4年  
杉田 亜優

公務員を志望したのは、自身の理想の働き方に近いと思ったからです。私は、興味の幅が広い分多くの業界に興味を持ちましたが、逆に強く惹かれるものもありませんでした。そこで、業界や職種から決めるのではなく、理想の働き方「ワークライフバランスを大切にできること」を中心に考えました。キャリア支援部にも相談をしたところ、就職活動の軸が明確になり、公務員を目指すことに決めました。また「日常の基盤に関わる仕事」に興味を持っていたため、仕事内容と働く環境がマッチし、自分らしく働くことができると思いました。公務員試験に向けての勉強は不安もあり大変でしたが、

妥協はしないという強い気持ちをもって励みました。

就職活動を通して大切にしたいことは、自分の良い点を伸ばしていくことです。勉強でも面接でも、自身の苦手な部分ばかりを気にするのではなく、それを補えるよう長所を伸ばしていきましました。後ろ向きになることもありましたが、自身の強みを理解したことで、試験も面接も合格を頂けたのだと思います。

他の人と比べて、焦ってしまうことがあると思いますが、自分らしく行動することで将来への気持ちもプラスになると思います。納得のいく進路になるよう、自分と向き合ってみてください。

私は、もともと他の業界を目指していましたが、コロナ禍で、その夢が遠のいてしまった状況で「卒業後、何をしたいかが分からなくなってしまった時期」がありました。しかし、周りの友人や家族に支えられ、「夢見ていた業界とは違っても、いつかまたその夢に挑戦するときに、役に立つ経験が積める」という考えに変わり、前向きに就職活動に取り組むことができました。

新たな気持ちで就職活動をする中で、漠然とした将来に不安を抱くこともありましたが、それでも乗り切ることが出来た理由は周囲の支えがあったからです。私一人では、就職活動は乗り切ることではできなかったと思います。不安な時には、

その気持ちを包み隠さずに、家族や友人に相談し、背中を押してもらいました。また、キャリア支援部の方々やOB・OGにとお話させていただく中で、自分では気が付かなかった長所や、自分の譲れない軸を明確にすることが出来ました。卒業後は、支えてくれた周りの方々への感謝を忘れず、秘書としてだけでなく、人として、たくさんのことを吸収し、より成長できるように、様々なことに挑戦し続けたいと思います。

就職活動中、不安な気持ちになってしまうこともあると思いますが、その努力が必ず人生の糧になると思います。前向きに、周りの人への感謝を忘れずに頑張ってください。心から応援しています。



アンダーソン・毛利・友常法律事務所  
国際コミュニケーション学科 4年  
樺澤 ゆい



住友化学株式会社  
英語コミュニケーション学科 4年  
折原 香音

就職活動を始めた当初、自分が将来何をしたいのか、どのような人になりたいのか全く想像がつかず、手当たり次第に企業の説明会やインターンに参加しました。周囲がだんだんと希望業界や職種を決めていく中でなかなか自分のやりたいこと、自分にできることが見つからずに焦り、落ち込むことも多くありました。しかし、自分の過去から現在までを振り返ること、そして自分だけではなく、キャリア支援部や友人、学内セミナーに参加し意見を聞くことでだんだんと自分のやりたいことや軸を見つけていくことができました。自分の納得いく企業に就職するために、選考にも多く

参加しました。うまくいかないことも多く、自分に自信を無くすこともありましたが、今までの失敗は今日までの練習だったのだと考え、選考に望むことで、気分的にも楽になりました。多くの選考に参加した分、面接にもだんだんと慣れていき、徐々に本来の自分を出せるようになりました。

就職活動中は、周り比べてしまったり、自分に自信を無くしてしまったりすることも多くあると思います。そんな時も自分を信じ、「失敗は成功のもと」という考えを忘れずに前に進んでいってください。皆さんの就職活動を心から応援しています。

私の就職活動は「コロナ禍」というキーワードが大きい部分を占めていました。各企業の採用活動が予測しにくい中、自粛期間中ということもあり、一度立ち止まって「本当に自分がやりたいこと」について熟考する時間をたくさん設けました。例えば、過去の経験や選択に対して「なぜ自分はこの道を選んできたのか？」という理由づけの作業をことごとくすることによって、自分の中で揺らぐことのない「軸」をしっかり見つけてから望むことができました。この期間のおかげで、途中どんな状況に立たされても、自分の選択や行動に自信を持つことができました。「まずは自分を知らことから始めよう」そんな気持ちで自己分析を始めれば、自分の「軸」にするべきものが見えてくるはずです。

就職活動中、私が一番大切にしていたことは「とりあえずやってみる」という姿勢です。私自身最初は右も左もわからず、なかなか行動できずにいました。しかし実際にエントリーシートを書いたり、面接に取り組んでいくうちに、自分のやりたいことや伝えたいことが明確になってくることがあります。また選考が進んでいく中で、周り比べて悩んだり不安に感じることもあっても、前に進み続けることに全力を注ぐことで、自然と納得のいく答えが見えてくることもありました。

これから就職活動を始める皆様には、ぜひ「立ち止まって自分について考える時間」と「走り続けて成長する時間」を使い分けながら、自分らしく就職活動をしていただきたいです。応援しております。



アクセンチュア株式会社  
英語コミュニケーション学科 4年  
羽山 みさと

# キャリア支援部より

## ●2021年3月卒の就職状況について

2021年3月卒の就職状況は、昨年に引き続き98.9%という高い就職率となりました。

経団連の「採用選考に関する指針」に基づき、3月広報解禁、6月選考解禁というスケジュールが維持されましたが、企業セミナーや選考開始の早期化傾向が見られました。また、1dayインターンシップを開催する企業が増加し、夏以降多くの学生がインターンシップへ参加し、業界・企業を絞り込んで就職活動を進める傾向がより強まりました。

職種別で見ると、総合職42.1%、準総合職9.2%と、全体の半数を占め、一般職は13.8%に留まり、総合職指向がさらに強くなってきています。前年に引き続き、就職先も多様化してきており、様々な業界で活躍する卒業生が増えてきています。

## ●2022年3月卒の就職活動状況について

2022年卒採用スケジュールは、前年同様3月1日広

報解禁、6月1日選考解禁、10月1日正式内定日のスケジュールで行われました。

昨年に引き続き就職活動は企業説明会・インターンシップや面接やディスカッションのオンライン化が多く見られました。中長期的な日本経済及び企業行政への影響もあり、これまでの学生有利の「売り手市場」への陰りが見え「買い手市場」傾向へ変わり、学生にとっては厳しい状況となっています。

本学で人気の高い航空業界や旅行、ホテル業界やサービス職種の採用の中止・縮小により、希望の業界・職種を変更し、新たな視野で活動をする学生も多くなります。

また、前年に引き続き一般職採用が全体的に減少傾向となったことで、よりいっそう各業界において一般職の競争が激化する状況が窺えました。

本学の状況としても進路決定の報告が例年より鈍くなりましたが、12月中旬時点で8割程の学生が就職や進学等の進路を決めています。

## ●2023年3月卒の就職活動について

次年度2023年3月卒の就職活動のスケジュールは、経団連が「採用選考に関する指針」として定めてきたルールを撤廃したことで政府主導に変更となったものの、当面は現行日程を維持する見通しとなりました。今年に引き続き、新型コロナウイルスの影響でより各企業の動き

の変化が予想される他、採用活動のオンライン化が継続されるものと予測されます。

本年度のキャリア支援セミナーは全てZoom開催とし、選考時期や方法の多様化の可能性を見越し、オンライン対応の支援を強化するなど、一連の対策ができるようプログラムしています。

キャリア支援部では3月以降の活動をスムーズに始められるよう、11月～1月にはランチ時間を使用しての業界研究ランチセミナーを開催し、25企業の人事担当者にZoomにてお話しいただきました。さらに2月にも3日間集中の業界研究セミナーをZoomで開催し、59社の企業の方にお越しいただき様々な角度から業界のお話をさせていただきました。また新たな試みとして、他女子大学との合同企業説明会へ主催校として参画し、WEB形式での企業説明会に多くの学生が参加しました。

本紙がお手元に届く頃には、すでに広報解禁を迎えており、連日、企業へのエントリーシートの提出や、説明会への参加で忙しい毎日をご過ごしていることと思います。今後、エントリーシートが思うように書けなかったり、面接で失敗したり、様々な場面に直面すると思いますが、キャリア支援部では随時相談を受け付けていますので、ひとりで悩まず、まずは気軽に面談予約ください。

また、進路先が確定した場合には、『『内定・進路決定登録(G-Port上での登録)』を必ず提出いただく必要がありますので、ご協力をお願いします。

## 主な就職先(数字は就職者数)

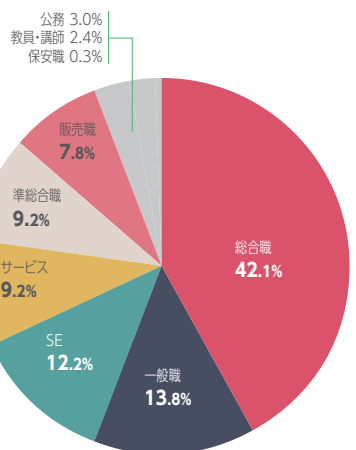
| 産業            | 企業名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 情報通信業         | アイエックス・ナレッジ(3)、グレイスコミュニケーションズ(2)、トランス・コスモス(2)日本システムクリエイト(2)パーソルプロセス&テクノロジー(2)、アース、ARTS TECH、アイネス、アズテック、アドバンストラフィックシステムズ、網屋、インテリジェントネット、インデックス、EIGHT、ALH、エッチ・アイ・シー、エヌ・エー・シー、NTTデータフロンティア、NTTデータ・エマーズ、MS&AD事務サービス、MS&ADシステムズ、エムテック、大塚商会、キリンビジネスシステム、グロウ、ケーエスシステム、ケネス、コスモネット、サクソード、さくら情報システム、CSSクレセント、システムシンク、ジュピターテレコム、ジョイソニー、昭和システムエンジニアリング、スペクトル、ソフトバンク、SOMPOシステムズ、第一コンピュータ、w2ソリューション、TBSグループ、デリー・インフォメーション、電通国際情報サービス、東通企画、日経リサーチ、日経ソリューションズ、日本情報産業、日本ディスプレイ、日本経営データ・センター、ネットフォース、パイオス、パシフィックシステム、ピーシーフェーズ、日立ソリューションズ・クリエイト、ヒューマングローバルタレント、ファミリーネットジャパン、フォーミュレーション、T.S.、富士通エフ・アイ・ピー、フジテレビジョン、ブロードウェイ、フロムスクラップ、ペネファクトジャパン、ペネファクトワン、ベルフェイス、Marketing-Robotics、マキエリ、Q'sfix、三菱商事フィナンシャルサービス、ユニクリタ、LIFULL、ラック、ルーセントスウェア、レゾルト |
|               | 郵船コーディアルサービス(3)、セコム(2)、創英国際特許法律事務所(2)、第一生命ホールディングス(2)、RCC文化センター、アウトソーシングテクノロジ、アクセンチュア、遅美坂法律事務所・外国法共同事業、イマジンプラス、ウェルネスコミュニケーションズ、牛島総合法律事務所、エイジェック、エヌリンクス、オニカム、オリエンタルランド、オリックス・ファンリディーズ、カトープレジャーグループ、かめや特許商標事務所、クイック、空港ターミナルサービス、グロップ、キューホールディングス、建設技術研究所、サンミュージックプロダクション、サンライフ、ジェイ・エス・エス、JTBベネフィット、システムトラスト研究所、時代屋、ジャネットホールディングス、ジョイフルまるやま、C.lives、スクールパートナーズ、スターティアホールディングス、全国労働金庫協会、ソフトバンクグループ、テイクアンドグーニーズ、デリアート、東京海上日動ファシリティー、西本Wismettacホールディングス、日本中央競馬会、沼田法律事務所、ネタもと、練馬区医師会、博報堂プロダクツ、長谷工コミュニケーション、パナグループ、BLD WEDDINGS、PwCあらた有責任監査法人、ファーストリテイリング、富士通エフ・アイ・ピー、プライムクロス、ペイロール、ペクトル、マンパワーグループ、三井倉庫ホールディングス、読売、LAVA International、リクルートスタッフィング情報サービス、レイス、ワークステーション                                                          |
| サービス業         | ヤオコー(3)、ソフコ、トヨタモビリティ東京(2)、ビックカメラ(2)、アインファーマシーズ、イオンリテール、一蔵、伊藤忠丸紅住テックノスチール、IDOM、ヴァンダムヤマダ、ウェルシア薬局、エレメントルール、大塚家具、カーテンじゅうたん王国、関東ハウジング、紀ノ国屋、キャナルシティ、QVCジャパン、キューピータマゴ、クオール、グスリのアオキ、小泉、合同会社西友、コカ・コーポラータージャパン、コスモ石油販売、サンテレビジョン、シーオーメディカル、ジェコス、ジャパンビルド、ジンスホールディングス、スズキビジネス、双日、太平紙業、千代田組、東急ストア、日産プリンス東京販売、日新堂、日鉄物産、日本テレメッセージ、俄、バベルパーク、ポーラ、やまと、山屋、ユザワヤ商事、ユニクロ、吉田通信、リコージャパン、ロクタンジャパン                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 卸売業・小売業       | 住友生命保険(4)、京葉銀行(3)、千葉銀行(3)、日本生命保険(3)、東京海上日動火災保険(2)、日本マスタートラスト信託銀行(2)、明治安田生命保険(2)、アクサ損害保険、朝日生命保険、沖縄銀行、共栄火災海上保険、きらぼし銀行、グッドモーニング、西京信用金庫、資産管理サービス信託銀行、城邦信用金庫、新生銀行、大樹生命保険、筑波銀行、東京東信信用金庫、日産証券、日本友邦共済生活協同組合連合会、富国生命保険、ほけんの窓口グループ、丸二証券、みずほ証券、みずほフィナンシャルグループ、三井住友海上あいおい生命保険、三井住友海上火災保険、三井住友信託銀行、三井住友トラスト・ローン&ファイナンス、三菱電機クレジット、武蔵野銀行、りそな銀行                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 金融・保険業        | 池上通信機(2)、朝日インテックJセルス、旭化成ファーマ、朝日工業、伊藤園、イノアックコーポレーション、NJT銅管、ENEOSグループ、オンデーズ、サンコーテクノ、ジェイ・エール東海パセンジャーズ、静和堂、ティ・エス・エス、デル・テクノロジーズ、凸版印刷、日本たばこ産業、日本ビクター、pdc、日之出水道機器、富士通フロンテック、ホギメディカル、ミツバ、ミドリ安全、ライオン、理想科学工業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 製造業           | 三井不動産リアルティ(2)、アイダ設計、アコモーションファースト、イオンモール、NECキャピタルソリューション、グッドライフ、サグ・プロ、昭和リース、スタートアップハウス、生利コーポレーション、大東建設パートナーズ、大和リビング、東京リパブリック、日本ケアサプライ、芙蓉総合リース、三井不動産レジデンシャルサービス、横河レンタ・リース、リアークスファインド、リコーリース、リングス、レクストホールディングス                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 不動産業、物品賃貸業    | 学習院(4)、イーオン(2)、国際医療福祉大学(2)、NOVAホールディングス(2)、アミティー、学芸社、Kids-UP、工学院大学、埼玉県教育委員会、創栄コーポレーション、筑紫学園筑紫台高等学校、日能研関東、明治大学付属中野中学校、高等学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 教育・学習支援業      | オーラニコホテルマネジメント、共立メンテナンス、京王プレッソイン、サンセイフーズサービス、JR東日本サービスクリエーション、シルバークラウド、セリリアンタワー東急ホテル、東急リゾーツ&ステイ、日本ホテル、ニュー・オスター、人形町今半、はま寿司、パレスホテル、プリンスホテル、丸の内ホテル、ミラリスリゾートホテルズ、ルートインジャパン                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 宿泊業・飲食サービス業   | ベネッセスタイルケア(2)、SBC湘南美容クリニック、沖縄徳洲会、海星会、公立学校共済組合、寿楽園、ちびっこ保育園、ニチケアパレス、光が丘こどもクリニック、HITOWAケアサービス、ぶれすとほいけん、山本眼科医院、ライオンアカデミー                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 医療、福祉         | 東京23特別区人事委員会(3)、神奈川市役所、警視庁、出入国在留管理庁、つくばみらい市役所、所沢市役所、法務省、八潮市役所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 公務            | 旭化成ホームズ、富士重工、リリア、NECファシリティー、NTT東日本・南関東、栃木セキスイハイム、ニチレキ、リノベ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 建設業           | 伊藤忠ロジスティクス、佐川グローバルロジスティクス、住友倉庫、安田倉庫                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 運輸業・郵便業       | 日本郵便                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 複合サービス業       | 武州ガス                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | U.S.Air Force                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| その他           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

## 2020年度就職状況 (2020年9月・2021年3月卒業生)

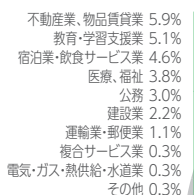
令和3年3月31日現在

|       |       |
|-------|-------|
| 卒業決定者 | 432人  |
| 就職希望者 | 374人  |
| 就職希望率 | 86.6% |
| 就職内定者 | 370人  |
| 就職内定率 | 98.9% |

## 2020年度 学習院女子大学 職種別雇用状況



## 2020年度 学習院女子大学 業種別就職先





## コロナ禍における図書館サービスについて

図書館では、昨年度より来館と遠隔による「ハイブリッド方式」で図書館資料を利用できるよう運用を変更すると共に、利用者の皆様が少しでも安全に館内を利用できるよう、環境整備に努めています。

2021年度は館内での遠隔授業受講スペースの拡大、閲覧机へのパーテーション設置、館内各窓への網戸設置など環境面を中心に整備しました。そこで、今回はコロナ禍における図書館サービスの状況と館内環境(2021年12月時点)についてご紹介します。

# 図書館から の お知らせ



### ■ サービス状況

4月から10月までは、国内の新型コロナウイルス感染状況に応じて、開館時間を短縮し、館内滞在時間を30分としていましたが、感染状況が落ち着き始めた11月より、平日は従来の開館時間(8:50-20:00)に戻し、館内滞在時間制限も廃止することとなりました。また、館内設置パソコンの利用も再開し、PCコーナーを中心に学生が利用する姿も見受けられます。但し、密を避けることから、館内滞在者数は100人までと制限し、グループ学習室の開放などは中止しています。4月から12月までの1日あたりの来館者数は平均100～120人で、館内資料利用の他に、自習や遠隔授業受講のために来館する姿が見受けられます。

来館することで受けられるサービスの他に、所蔵資料の郵送貸出と複写物送付サービス、学外から女子大学契約のデータベース・電子資料へアクセスするためのリモートアクセスの契約など、来館をしなくても図書館資料の利用が可能なサービスも昨年度に引き続き提供しています。

### ■ 館内整備

2021年度は、年度初めに全ての閲覧机に飛沫感染防止のパーテーションを設置しました。閲覧席は隣の座席との間隔が狭いため、間引きをし、市松模様に設置することで、感染症対策を講じています。



次に、6月1日からの対面授業再開に合わせ、遠隔授業受講スペースを拡大し、従来の36席から最大で97席まで拡張しました。このうち、48席は閲覧席としても使用可能としています。その他、遠隔授業では発言する機会のある学



生も多いことから、2020年度に増設した個人ブース型の閲覧席「個人キャレル」(2箇所・計13席)を新たな遠隔授業受講スペースとして、提供を開始しました。個人キャレル席は、集中して授業に臨めるという理由から、利用者からも高い支持を得ています。現在は遠隔



授業専用スペースとしていますが、いずれは資料閲覧・自習スペースとして提供する予定です。

夏季休暇中には、館内各所の工事を行いました。全ての窓に網戸を設置するなど、換気環境の改善にも繋がりました。また、12月中旬に館内の二酸化炭素濃度の測定をしたところ、数値の異常はなく、気流の流れも正常でした。

コロナ禍における運用は続きますが、引き続き、利用者の皆様が安心して図書館資料を利用できる環境を整備してまいります。



## 専任教員著書紹介

2021.1.1 ～ 2021.12.31

※原則として単行書を取り上げ、著作形態および紹介文は教員の報告に拠っています。



金城 亜紀 教授

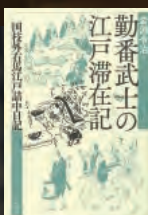
『法と経営研究 第4号』

共編著

出版社名／信山社

出版・発行年月／2021年2月

内容／「法と経営学会創設記念号」。金城とTVDキュメンタリー・プロデューサー東野真による対談からはじまり、加賀山によるエッセー以下、4本の論説（越智、梶原、小國、尾関）と書評3本を掲載。



岩淵 令治 教授

『勤番武士の江戸滞在記  
— 国枝外右馬江戸詰中日記』

編著

出版社名／勉誠出版

出版・発行年月／2021年3月

内容／参勤交代で、天保13(1842)年3月から約1年間、江戸に滞在した豊後国臼杵藩士の日記を全文翻刻し、解説を付したもの。女子大学の出版助成金により、出版した。



石澤 靖治 教授

『政治コミュニケーション概論』

編著

出版社名／ミネルヴァ書房

出版・発行年月／2021年4月

内容／アメリカ、日本、国際関係とメディア、世論、情報がどのように相互作用しながら、政治状況、国際情勢を形成しているかを大学生用のテキストとして構成したもの。



宇都宮 由佳 准教授

『日本食の文化  
原始から現代に至る食のあゆみ』

共編著

出版社名／アイ・ケイコーポレーション

出版・発行年月／2021年7月

内容／各時代の日本食の魅力がわかる一冊。特に、現在の日本食に影響を与えた近代以降についても丁寧に解説している。さらに将来の食の課題にも触れられており、食文化の興味や関心の幅を広げるのに役立つ。



クレイ サイモン 教授

『New Treasure English Series,  
Stage 2. Third edition.』

執筆

出版社名／Z 会

出版・発行年月／2021年8月

内容／Third edition of the junior high school English textbook "New Treasure Stage 2" Including more natural phrases and new themes



古庄 信 教授

『シェイクスピアは三度が好き?!  
— 沙翁と聖書にみる反復表現 —』

著

出版社名／英宝社

出版・発行年月／2021年11月

内容／シェイクスピア作品を読む際、特に原文中に現れる語句や文の三度の反復について、その起源が聖書にあることを証明しつつ、歴史劇、喜劇、悲劇、ロマンス劇、旧約・新約聖書から例を示し、その修辭技法について論じたもの。





## 学習院女子大学専任教員紹介

### 日本文学学科

|        |     |                                 |
|--------|-----|---------------------------------|
| 伊藤 守幸  | 教授  | 平安文学研究、比較日本文学研究                 |
| 今橋 理子  | 教授  | 日本美術史(江戸絵画史)、比較日本文化論            |
| 岩城 宏明  | 教授  | 情報処理、計算科学                       |
| 岩淵 令治  | 教授  | 日本近世史                           |
| 内野 儀   | 教授  | 表象文化論、舞台芸術(演劇・舞踊)論              |
| 宇都宮 由佳 | 准教授 | 食文化、生活文化                        |
| 木村 直恵  | 准教授 | 日本近代史、文化史                       |
| 工藤 雄一郎 | 准教授 | 先史学、植物考古学、環境考古学、年代学、漆文化史        |
| 越塚 美加  | 教授  | 図書館情報学                          |
| 佐藤 琢三  | 教授  | 日本語学(現代の意味論・文法論)                |
| 澤田 匡人  | 准教授 | 感情心理学                           |
| 品川 明   | 教授  | フードコンシャスネス教育、環境教育、生態学、コミュニケーション |
| 清水 将吾  | 准教授 | 情報科学、データ科学                      |
| 清水 敏男  | 教授  | 現代美術史、アートマネジメント(博物館学)           |
| 土屋 有里子 | 准教授 | 日本中世文学、キリシタン文学                  |
| 時安 邦治  | 教授  | 社会学・社会思想                        |
| 橋本 彩   | 准教授 | スポーツ人類学、文化人類学                   |
| 福島 直恭  | 教授  | 日本語学、日本語史                       |
| 福島 雅子  | 准教授 | 日本染織史、服飾史                       |

### 国際コミュニケーション学科

|         |     |                                   |
|---------|-----|-----------------------------------|
| 石澤 靖治   | 教授  | 国際コミュニケーション論、米国政治                 |
| 伊藤 由紀子  | 教授  | 国際協力、NPO、NGO                      |
| ウーゴ・ミズコ | 准教授 | 文化遺産学                             |
| 宇野 公子   | 教授  | 国際経済、金融論、基礎経済学                    |
| 江藤 正己   | 准教授 | 図書館・情報学(情報検索、情報システムなど)            |
| 大桃 敏行   | 教授  | 教育行政学、教育制度論                       |
| 北川 香子   | 教授  | 東南アジア歴史・地域研究                      |
| 金城 亜紀   | 教授  | 経営学、経営史                           |
| 金野 純    | 教授  | 社会史、歴史社会学、東アジア地域研究(主に現代中国)        |
| 佐久間 みかよ | 教授  | アメリカ文学・文化                         |
| 櫻井 大三   | 教授  | 国際法                               |
| 澤田 知香子  | 教授  | 英語圏文学・文化、ポストモダニズム・ジェンダー研究         |
| 莊林 幹太郎  | 教授  | 農業政策、農業貿易と環境、農業環境・資源政策            |
| 武井 彩佳   | 教授  | ドイツ現代史、ユダヤ史、マイノリティ研究              |
| 中島 崇文   | 教授  | 中・東欧の歴史、政治、宗教、社会、文化、民族問題          |
| 畠山 圭一   | 教授  | 国際政治、アメリカ政治外交、日米関係                |
| 古庄 信    | 教授  | 英語学(歴史統語論、特にシェイクスピアと聖書の語法)、イギリス文化 |
| 正本 忍    | 教授  | フランス近世史、社会史、法制史                   |
| 羅 京洙    | 准教授 | 国際関係論、国際移動論、東アジア地域研究、現代コリア研究      |

### 英語コミュニケーション学科

|            |     |                                                  |
|------------|-----|--------------------------------------------------|
| ウィン・グン     | 教授  | ビジネス英語                                           |
| 萱 忠義       | 教授  | 応用言語学、英語教育、早期英語教育、英語教育へのICT活用                    |
| ギュンター・ディルク | 教授  | 英米文学、ポピュラーカルチャー研究、英語教育                           |
| クレイ・サイモン   | 教授  | 翻訳研究、英語教育                                        |
| 高橋 礼子      | 准教授 | 応用言語学、World Englishes、English as a Lingua Franca |
| 田島 千裕      | 准教授 | 教育学、異文化コミュニケーション、英語教授法、混合研究法、留学研究                |

# 保健室からのお知らせ

保健室は、学生の皆さんが心身ともに健康な学生生活を送れるように支援しています。

春の定期健康診断を通して病気の予防や早期発見に努めています。

日常業務としては、学校医や看護師による健康相談、疾病の応急処置、医療機関の案内等を行っています。

|             |                                                                                  |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 場 所         | 1号館1階                                                                            |
| 開 室 時 間     | 月曜日～金曜日 8:40～16:45 ※授業期間中（木曜日を除く）は18:00まで<br>土曜日 8:40～12:30                      |
| 学校医来室時間     | 隔週水曜日 13:30～15:30<br>隔週月曜日（メンタルヘルス相談）14:30～16:30<br>※予約制 家族の方の同席や家族の方のみでも相談が可能です |
| 電 話 ・ F a x | 03-3203-7503（直通）                                                                 |
| E-mail      | gwc-hlth@gakushuin.ac.jp                                                         |

## 保健室では以下のような業務を行っています。

- 定期健康診断（毎年4月初旬）
- 健康診断証明書の発行（和文・英文）
- 英文予防接種証明書の発行
- 学校医・看護師による健康相談
- 医療機関の紹介・案内
- 応急処置・ベッド休養  
\*医療機関ではありませんので応急処置のみ行っています。  
薬を渡すことはできませんので、日頃からご自身に合う薬の携行をお願いします。
- 自動計測機器による各種測定
- 健康教育（上級・普通救命講習会の実施、雑誌や資料の閲覧、健康に関する最新情報の掲示等）
- 行事救護（雅祭、和祭、入試、オープンキャンパス等）



保健室の入口です

また、新型コロナウイルス感染症対策において、女子大学は管轄する保健所職員と連携しながら、学校医・学校薬剤師・看護師・教職員がチームとなり対策を行っています。保健室スタッフは以下のような業務を実施しています。

- 学生・教職員の感染防止継続への啓発
- 学校医・学校薬剤師に相談し、教室環境測定を行いながら教室内の適正な換気方法の助言
- 女子大学構内のアルコール手指消毒液の設置と管理
- 感染対策用の備蓄品の整備と管理
- 新型コロナウイルス罹患・濃厚接触者の学生・教職員の健康観察とその後のフォロー



2号館1階の学生研究室前では、サーモカメラによる体温測定と一緒に非接触式アルコールディスペンサーで手指の消毒ができます。



互敬会館1階メインホール前の非接触式アルコールディスペンサーは、学習院父母会様よりご寄贈いただきました。毎日多くの学生が使用しています。



2号館地階やわらぎホール出入口前です。手指消毒をするために列を作らないように、収容人数に応じて非接触式アルコールディスペンサーを設置し、定期的に薬液の点検をしています。

それぞれの専門性を活かしながら、学生の皆さんが安心して学校生活を送れるように対応しています。  
どうぞ気軽にご利用ください。



## 学習院父母会の 近況報告

### 学習院女子大学 父母会会員の皆様へ

学習院父母会会長 大野 泰弘

「ご父母の皆様には本会の運営につきましてご理解賜り感謝いたしております。

学習院父母会は、学習院全体の経営、教育に参画し支援する組織であり、その目的に従ってさまざまな活動をしています。これは他の学校法人には見られない特徴です。本会は、園児、児童、生徒、学生が学習院において充実した学校生活が送れるように多岐にわたって支援することを第一の役割であると考えております。それは、学習院で学ぶ子ども達が社会人となり、明日の日本、世界の一翼を担う人材として成長することを願っているからです。

本会は皆様から頂戴する年会費で運営されております。皆様とともに、「ご息女のご成長、ご活躍をお祈り申し上げます。

### ● 父母会の主要事業

#### (1) 父母会奨学金制度 (平成13年度創設)

学習院に在学する学生、生徒等で父母保証人の死亡などに起因し、家計が激変したことにより、学費の支弁が困難と認められる勉強熱心な者に対し、選考のうえ、年15名以内、年額授業料・維持費(高等科以下の名称)・施設設備費(大学及び女子大学の名称)相当額を学習院在学中1年度に限り給付するものとす。

るものです。令和3年度は5名(大学4名、女子大学1名)の学生・生徒へ給付いたしました。

#### (2) 父母会課外活動等助成金制度 (平成13年度創設)

現代は単に学問だけでなく、スポーツ・文化などを含めた広く大きな「人格形成」が教育の場に求められています。そこで父母会は、大学、女子大学、男女中・高等科及び初等科の運動部・文化部等の課外活動に対し積極的に助成しております。

・各部・各クラブの備品用具等へ助成する一般助成金について、令和3年度は各学校合計44件でした。

・父母会課外活動等優秀賞・奨励賞受賞について、令和3年度は各校合わせまして、優秀賞は団体3件、個人38件、奨励賞は団体1件、個人6件でした。

### ● 父母会の近況報告

#### (1) 地方における「地震災害による被災者父母保証人」へのお見舞い等

新潟県中越地震(平成16年)、福岡県西方沖地震(平成17年)、新潟県中越沖地震(平成19年)、岩手・宮城内陸地震(平成20年)、それぞれ、お見舞金を贈呈しました。

平成23年3月11日、東北関東地域に発生した甚大な災害に当たって「学習院東日本大震災義援金」へ100万円を募金しました。

また、東日本大震災罹災学生(大学及び女子大学に申請・認定の学生)に対して生活支援金(平成23年度の時限措置)を支給しました。

さらに、近年多発している大規模

自然災害に対して、「父母会からの贈呈金に関する内規」を改正し、柔軟に対応できるようにしました。

#### (2) 「オール学習院の集い」への協力

恒例の「オール学習院の集い」に対して、法人へ寄付をすると共に、常任幹事の方々には当日の運営にご協力いただき、「共催」の役目を務めております。

なお、本年度はコロナ禍にあつて開催中止となりました。

#### (3) 大型物件の寄贈及び寄付

・百周年記念会館小講堂の椅子の老朽化に伴い、200脚寄贈(平成20年)

・学習院女子大学ヘグランドピアノ(スタインウェイC227)の寄贈(平成21年)

・幼稚園へAED及び保健室へAED訓練用入形の寄贈(平成21年)

・学習院女子中・高等科テニス・バレーコート人工芝化改修工事費の寄付(平成22年)

・校外施設(沼津游泳場・妙高高原)地デジ対応テレビ等買い替えの寄付(平成22年)

・幼稚園へステンレス製オリジナル2連登り棒を寄贈(平成23年)

・各学校(大学・幼稚園)へ災害時整備計画に基づく備蓄品等を寄贈(平成24年)

(女子大学用備蓄品として、アルファ米2100食及びサバイバルパン2016缶を寄贈)

・学習院大学へ西5号館1階「学生ホール」内設置の椅子188席を寄贈(平成26年)

・学習院大学へ輔仁会館前噴水広場用屋外チェア16脚を寄贈(平成27年)

・初等科図画室内設置の机9台、材料台4台、及び椅子36脚を寄贈(平成29年)

・学習院女子中・高等科総合体育館の綴帳一式を寄贈(平成29年)

・学習院中・高等科第2テニスコート人工芝化(オムニコート)工事費用の寄付(平成29年)

・各学校(大学・中・高等科、女子中・高等

科、初等科)のAED新規設置に伴う費用の寄付(平成30年)

・学習院女子大学テニスコート(人工芝)新設・整備費用の寄付(平成30年)

・幼稚園電動「ひさし」設置工事費用の一部助成(平成30年)

・沼津 伝馬船(木造和船)一艘を寄贈(令和元年)

・学習院中等科・高等科第2体育館の空調設置工事費用の一部助成(令和元年)

・百周年記念会館設置の演奏用椅子購入費用の一部助成(令和2年)

・初等科「図画室」工作台天板カバーほか寄贈(令和2年)

・女子大のAED新規設置に伴う費用の寄付(令和2年)

・学習院中等科・高等科第1体育館の空調設置工事費用の一部助成(令和2年)

・学習院大学体育館の空調設置工事費用の一部助成(令和2年)

・各学校へのテント9張り寄贈(令和3年)

・大学へのアルコールディスプレイの設置費用の寄付(令和3年)

・女子中・高等科第2体育館空調設備工事の一部助成(令和3年)

### おわりに

以上のように学習院父母会は直接あるいは間接に学習院の経営、教育に参画、支援をしている組織です。皆様と共に、これからも学習院を支え、より良い学校にする努力を続けて参りたいと存じます。

父母会本部事務局は目白キャンパスの学習院創立百周年記念会館2階にございます。

(ご用の方は、ご遠慮なく、ご連絡下さい。)

開室時間 月・金 9時〜17時  
(コロナ禍収束まで 10時〜16時)  
TEL&FAX:03-3988-3226

草上会は、学習院女子大学(大学院含む)・学習院女子短期大学出身者による同窓会です。学習院全体の同窓会として桜友会がありますが、その一部会となります。

1959(昭和34)年11月に発足し、当時、学習院長であり女子短期大学学長でいらした安倍能成先生がわだかまりのない集いになるよう、マネの『草上の昼食』にちなみ会名をつけてくださいました。現在では、活動の拠点となる事務局を互敬会館3階に置き、会員の皆様に毎年度ご協力いただく維持運営費に支えられ活動しています。会員数も3万人を超え、20代から90代までの幅広い年齢層の集う会となりました。

草上会会則には、本会の目的として「出身者の親睦、向上をはかり、母校の発展に寄与し、社会に貢献する」とあります。2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動の多くを見合わせざるを得ませんでした。2022年度は、少しずつでも活動が再開できることを願って、前述の目的に沿ったこれまでの活動の一部を紹介いたします。

### 会員親睦

6月に開催される定時総会では、議事終了後、懇親会を開催しています。ご来賓をお招きし、各界で活躍する講師による講演会を行い、会員の親睦を深めています。また、秋の日帰リツアーでは、近郊の名所旧跡等を訪ねています。

『草上会たより』、『桜友会報』草上会ページ、ホームページ等を通じ、会の情報提供、現状報告をするともに、会員の情報交換にも努めています。



歴代学長の色紙が並ぶ草上会ロビー

### 母校支援

女子大学生の主催する4月の「雅祭」、10月の「和祭」では、会の活動のPRを兼ね支援協力しています。「和祭」では、どなたでもご参加いただけるバザー、会員作品展、講演会等を開催し、会員が気軽に立ち寄れるよう草上会サロンを設けています。2021年度は、どちらもオンラインでの開催となり、パンフレットへの広告掲載の協力のみとなりました。

母校支援として、会員の皆様にお納めいただく維持運営費より、女子大学へ毎年度指定寄付をしています。



総会・懇親会 小野寛先生のご講演(2013年度)



和祭参加 バザー (2019年度)

### 社会貢献

新宿区社会福祉協議会に車椅子3台等と手縫いのフキン200枚を毎年度寄贈しています。月に一度のボランティア活動の折りに、ご寄付いただいたタオルによりこのフキンを作製しています。2021年度は、集まることを控え、会員有志にご自宅で作製していただきました。また、使用済み切手と外国コインを回収し、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)に持参しています。ほかにも被災地や国境なき医師団などに寄付をしています。



日帰リツアー 小江戸川越バス旅行(2019年度)



学習院女子大学 学生数 一覧

| 学科 | 日本文化学科 | 国際コミュニケーション学科 | 英語コミュニケーション学科 | 合計    | 大学院修士課程 |
|----|--------|---------------|---------------|-------|---------|
| 1年 | 152    | 179           | 37            | 368   | 4       |
| 2年 | 158    | 202           | 50            | 410   | 5       |
| 3年 | 140    | 171           | 47            | 358   | -       |
| 4年 | 170    | 222           | 57            | 449   | -       |
| 合計 | 620    | 774           | 191           | 1,585 | 9       |

(令和3年12月1日現在)

令和4年度 女子大学奨学金一覧表

※特記がない場合は学部・大学院共に対象。各奨学金の詳細は学生部窓口にお問い合わせください。

| 制度名                                  |      |                    | 金額(円)                                  | 募集時期           | 貸・給別   | 備考                   |
|--------------------------------------|------|--------------------|----------------------------------------|----------------|--------|----------------------|
| 安倍能成記念教育基金奨学金                        |      |                    | 450,000                                | 募集しない・推薦制      | 給付     | 採用1ヶ年<br>2年生以上対象     |
| 学習院女子大学学業優秀者給付奨学金                    |      |                    | 学部学生 150,000<br>大学院生 300,000           | 募集しない・推薦制      | 給付     | 採用1ヶ年<br>2年生以上対象     |
| 学習院女子大学大学院研究奨励金                      |      |                    | 大学院生 35,000                            | 4月上旬           | 給付     | 在学期間合計2回限り           |
| 学習院女子大学学費支援給付奨学金                     |      |                    | 学部学生 第2期授業料相当額                         | 9月中旬           | 給付     | 採用1ヶ年                |
| 学習院女子大学奨学金                           |      |                    | 大学院・学部学生<br>学費納付金相当額以内(通算二学期分以内)       | 4月中旬           | 貸与     | 採用1ヶ年<br>令和2年度以前入学対象 |
| 学習院女子大学教育ローン金利助成奨学金                  |      |                    | 在学中利子分給付(年50,000を上限)                   | 11月上旬          | 給付     | 採用1ヶ年 毎年申請           |
| 学習院女子大学海外留学奨学金                       |      |                    | 500,000以内                              | G-Port         | 給付     |                      |
| 学習院女子大学海外留学奨学金<br>(交換によらない難関協定校への留学) |      |                    | 600,000以内                              | G-Port・掲示による   | 給付     |                      |
| 学習院女子大学海外短期語学研修奨学金                   |      |                    | 現地研修100,000以内・オンライン研修30,000以内          | G-Port・掲示による   | 給付     |                      |
| 学習院女子大学海外ボランティア活動奨励金                 |      |                    | 100,000以内                              | G-Port・掲示による   | 給付     |                      |
| 学習院女子大学協定留学生奨学金                      |      |                    | 500,000以内                              | 対象者へ個別通知       | 給付     | 協定留学生対象              |
| 学習院女子大学外国人留学生奨学金及び奨励金                |      |                    | 奨学金 200,000                            | G-Port・掲示による   | 給付     | 毎年申請                 |
|                                      |      |                    | 奨励金 300,000                            | 募集しない・推薦制      |        |                      |
| 学習院父母会奨学金                            |      |                    | 学部学生(家計急変者に限る)<br>授業料・施設設備費相当額         | 11月中旬          | 給付     | 採用1ヶ年在学中1回限り         |
| 日本学生支援機構                             | 学部学生 | 第1種(無利子)           | 自宅 月額54,000上限<br>自宅外 月額64,000上限        | 4月上旬           | 貸与     | 卒業月まで貸与              |
|                                      |      | 第2種(有利子)           | 月額120,000上限                            |                |        |                      |
|                                      | 大学院生 | 第1種(無利子)           | 月額50,000または88,000                      | 4月上旬           | 貸与     | 修了月まで貸与              |
|                                      |      | 第2種(有利子)           | 希望により貸与月額5万、8万、10万、13万、15万の<br>いずれかを選択 |                |        |                      |
| 高等教育における<br>修学支援新制度<br>(学部生のみ)       |      | 授業料減免              | 年額700,000を上限として減免                      | 4月上旬           | 給付(減免) | 継続審査あり               |
|                                      |      | 日本学生支援機構<br>給付型奨学金 | 自宅 月額42,500上限<br>自宅外 月額75,800上限        | 4月上旬           | 給付     | 継続審査あり               |
| 日本学生支援機構 外国人留学生学習奨励費                 |      |                    | 月48,000                                | 募集しない・推薦制(※原則) | 給付     | 採用1ヶ年 追加推薦あり         |
| その他公私機関による奨学金制度                      |      |                    | その都度G-Port及び掲示参照                       |                |        |                      |

令和4年度 学年暦

|    |            |               |     |            |               |
|----|------------|---------------|-----|------------|---------------|
| 4月 | 春季休業       | 1(金)～9(土)     | 10月 | 和祭準備(休講)   | 7(金)          |
|    | 新入生ガイダンス   | 1(金)～9(土)     |     | 和祭(休講)     | 8(土)、9(日)     |
|    | 健康診断       | 1(金)、2(土)     |     | 和祭片付け(休講)  | 10(月)         |
|    | 雅祭         | 2(土)          |     | 開院記念日(休講日) | 17(月)         |
|    | 入学式        | 4(月)          | 11月 |            |               |
| 5月 | 春学期授業開始    | 11(月)         | 12月 | 振替休講日      | 22(木)～24(土)   |
|    | 振替休講日      | 30(土)         |     | 冬季休業       | 25(日)～1/10(火) |
|    | 休日開講日      | 3(火)          | 1月  | 振替休講日      | 10(火)         |
| 6月 | 開学記念日(休講日) | 15(日)         |     | 授業開始       | 11(水)         |
|    |            |               |     | 補講期間       | 17(火)、18(水)   |
| 7月 | 休日開講日・補講期間 | 18(月)、19(火)   |     | 秋学期末試験     | 23(月)～28(土)   |
|    | 春学期末試験     | 25(月)～30(土)   |     | 秋学期授業終了    | 28(土)         |
|    | 春学期授業終了    | 30(土)         |     | 春季休業       | 29(日)～3/31(金) |
|    | 夏季休業       | 31(日)～9/18(日) | 2月  | 秋学期試験予備日   | 7(火)          |
| 8月 | 春学期試験予備日   | 1(月)          |     | 秋学期追試験     | 14(火)、15(水)   |
| 9月 | 追試験        | 12(月)、13(火)   | 3月  | 卒業式        | 19(日)         |
|    | 秋学期ガイダンス   | 14(水)～16(金)   |     | 在学生ガイダンス   | 22(水)～25(土)   |
|    | 秋学期授業開始    | 19(月)         |     |            |               |
|    | 休日開講日      | 19(月)、23(金)   |     |            |               |

## 学女PRアンバサダーについて

本学では、学生広報スタッフ「学女PRアンバサダー」(以下、アンバサダー)が、受験生に大学の魅力を伝えるべく活躍しています。アンバサダーは毎年度登録が必要な有志の集まりで、興味のある活動を登録しておく、大学からオファーが届くという仕組みです。主な活動は、大学案内の撮影やインタビューモデル、学生ブログの執筆や写真撮影、オープンキャンパスの学生相談ブースやキャンパスツアーの実施など、多岐にわたります。

本制度は2017年度より開始し、母校訪問を主な活動としていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大で課外活動等が制限される中、学生の活動の場を作るべく、2020年度より現在の形に生まれ変わりました。

受験生から「オープンキャンパスでお話した先輩に憧れて、学習院女子大学を志望した」「学生ブログを読んで受験対策をした」等のお声をいただくようになり、アンバサダーは大学と受験生のよき架け橋になっていると実感しています。

### 活動実績

#### ・オープンキャンパス

学生相談ブースやキャンパスツアーを担当し、受験生や保護者と直接お話ししています。



#### ・ノベルティグッズの作成

オープンキャンパスや学校見学の来校者にお渡しするバッグをデザインしました。また、ノベルティグッズ(マスクケース、ペーパーソープ)は、品物選定からアンバサダーが担当しています。

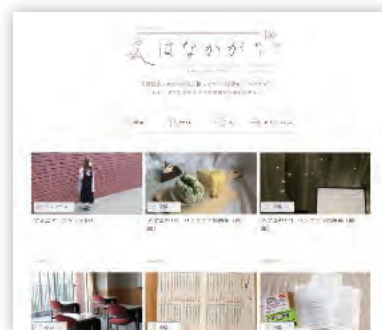


#### ・学生ブログ「はなかがり」

(<https://gwc-gakushuin.jp/hanakagari/>)

“受験生の入学までの道を照らしたい”という思いを込め、夜桜を鑑賞するために焚火を意味する「華篝」からアンバサダーが命名しました。受験体験記の他、お勧めの授業や大学生生活の紹介など、学生目線で記事を企画・執筆しています。

※ブログ閲覧には会員登録が必要です。



「学女PRアンバサダー」は、通年で登録を受付けています。ご興味がありましたら入試係までご連絡ください。

お問合せ先

学習院女子大学 入試係

[gwc-off@gakushuin.ac.jp](mailto:gwc-off@gakushuin.ac.jp)



## 02

### 令和4年度オール学習院の集いの開催中止のお知らせ

令和4年4月に開催を予定しておりましたオール学習院の集いは、新型コロナウイルス感染症の国内感染状況の終息が見通せず、また今後、感染再拡大の懸念もある状況を

受け、開催中止を決定いたしました。本集いを楽しみにしておられました方々には、ご期待にお応えできなかったことに対し、深くお詫び申し上げます。

## 03

### 新協定校が誕生しました！

#### ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学アジア・北アフリカ学科(イタリア)

学習院女子大学はこの度、イタリアのヴェネツィア・カ・フォスカリ大学アジア・北アフリカ学科(Dipartimento di Studi sull'Asia e sull'Africa Mediterranea, Università Ca'Foscari Venezia)と交流協定を締結いたしました。

この協定は、学生及び教員の教育・研究面での発展を図ることを目的とし、協定書は英文を正文として、2021年10月29日付で発効いたしました。

同大学はイタリア、ヴェネツィア市にある1868年創立の8学部を擁する国立総合大学で、1700名を超える学生が日本語を学んでおり、活発な交流が期待されます。



## 04

### 令和3年度 学習院女子大学 学生表彰 表彰者一覧

標記の件について、以下の団体および個人の方が表彰されました。

|    |                 |                                                                                                                                                                               |
|----|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団体 | 永田 綾            | 第38回産経国際書展においてU23かな部入選を果たしたため。<br>(約半数入選/総出品数5280点)                                                                                                                           |
| 個人 | 中村 雅            | ①第15回東日本学生フィギュアスケート選手権大会兼第94回日本学生氷上競技選手権大会選考競技会において、女子3級クラス4位入賞、全日本インカレの出場権を得たため。<br>(女子3級クラス参加者数12名)<br><br>②第94回日本学生氷上競技選手権大会において、女子3級クラス8位入賞の成績を収めたため。<br>(女子3級クラス参加者数12名) |
| 団体 | ジャズダンス部<br>AQUA | 大学対抗ダンスコンテストにおいて、特別賞(4位)を受賞したため。<br>(参加団体数8団体)                                                                                                                                |
| 団体 | チアリーダー部         | JAPAN CUP 2021日本選手権大会において、自由演技競技DIVISION.I大学部門23位の成績を収めたため。<br>(参加団体数48団体)                                                                                                    |

## 編集後記

yawaragi24号では初の試みとして、学習院女子大学写真部の学生が撮影した写真を掲載しています。写真部の皆さん、素敵な写真をありがとうございました。

対象のページはP2、P5、P6、P7、P24です。



部員は、コロナ禍だからこそ活動できる時間を楽しんでいます。早く皆で集まって撮影会を行いたいです。部員募集中です！

日本文化学科 3年 部長 緒方 由佳

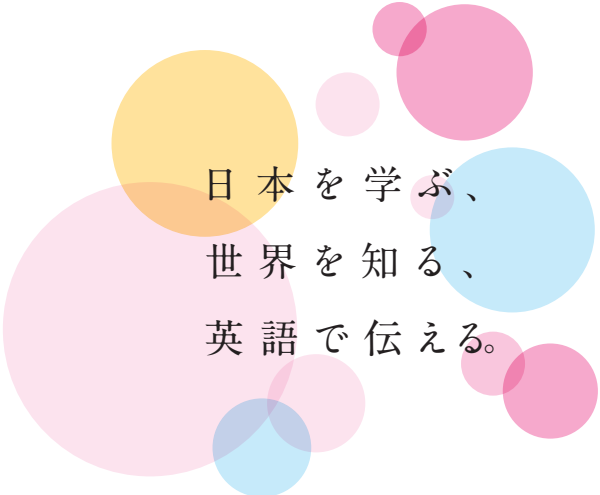
#### 撮影に関わった部員

日本文化学科 4年 松野 沙月

日本文化学科 3年 石川 仁菜

国際コミュニケーション学科 3年 陳 屏瑞

国際コミュニケーション学科 1年 猪股 ちひろ



日本を学ぶ、  
世界を知る、  
英語で伝える。



学習院女子大学 事務統括部

〒162-8650 東京都新宿区戸山3-20-1

TEL 03-3203-1906 FAX 03-3203-8373

URL <https://www.gwc.gakushuin.ac.jp>